

第3次戸田市
子どもの読書活動推進計画

2020年度～2024年度



目 次

第1章 はじめに

1 計画策定の目的	1
2 計画の背景（国・県・市の状況）	2
3 計画の位置づけ	3
4 計画の期間	3
5 計画の対象	3

第2章 第2次計画の取り組みと課題

1 第2次計画の取り組み	4
2 第2次計画及びアンケート結果を踏まえた課題	8

第3章 第3次計画の基本的な考え方

1 基本理念	10
2 基本方針	10
3 評価指標及び数値目標	11
4 計画の進行管理	11

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

1 基本方針1 発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供と充実	12
2 基本方針2 読書環境の整備・充実	16
3 基本方針3 読書活動の普及・啓発	18
4 基本方針4 読書活動の推進体制の整備	19

【資料編】

○子どもの読書活動の推進に関する法律 （平成13年12月12日法律第154号）	23
○アンケート調査の実施概要	26
○アンケート調査結果	28
○アンケート質問用紙	66
○計画策定経過	93
○第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会要綱	94
○第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員名簿	96

第1章 はじめに

1 計画策定の目的

子どもにとって読書は、さまざまな発見や感動、そして知る喜びをもたらします。読書を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていきます。

しかしながら、近年情報メディアが急速に変化・発展し、子どもたちを取り巻く社会環境に大きく影響が及び、時代の変化と併せて子ども達の読書離れが深刻化しています。こうした中、子どもたちが本当に必要とする知識や情報を得るためにも、子どもの発達段階に応じた、読書環境の整備や充実が必要です。

戸田市では、国や県の動向や時代の変化をふまえ、子どもたちが本に親しみ、楽しめるよう読書環境をより良くするために、平成21年3月に「第1次戸田市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年に「第2次戸田市子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校の連携や協力により、様々な取組を行い、読書活動の推進を図るよう努めてまいりました。

本来であれば、第2次計画の最終年度となる平成30年度に、第3次計画を策定する予定でしたが、平成30年10月から始まった図書館・郷土博物館の大規模設備改修工事に伴い、図書館本館を平成30年7月から令和2年3月まで休館することから第2次計画期間を1年間延長することといたしました。

大規模な設備改修工事を経て、図書館本館は令和2年4月から指定管理者による運営となります。各関係部署との連携をさらに強化し、より一層読書活動の推進を図っていくため、ここに「第3次戸田市子どもの読書活動推進計画」を策定するものです。

2 計画の背景（国・県・市の状況）

（1）国の動向

平成13年12月	子どもの読書推進法公布
平成13年12月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
平成14年8月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」 (第一次) (閣議決定)
平成17年7月	「文字・活字文化振興法」交付・施行
平成20年3月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」 (第二次) (閣議決定)
平成25年5月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」 (第三次) (閣議決定)
平成30年4月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」 (第四次) (閣議決定)

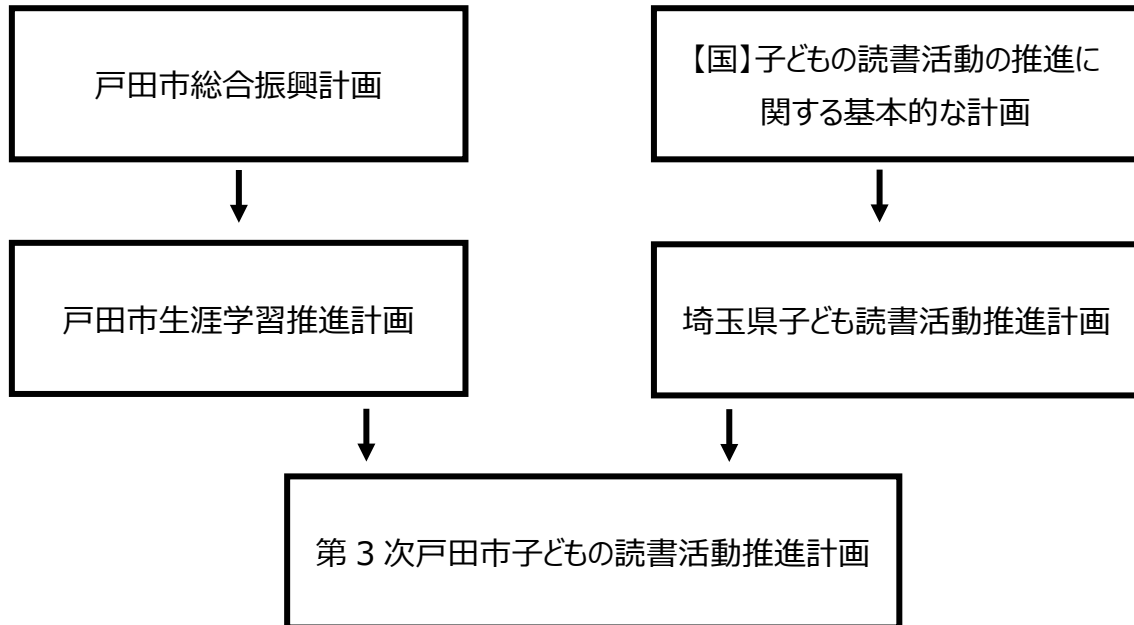
（2）県の動向

平成16年3月	「埼玉県子ども読書活動推進計画」策定
平成21年3月	「第二次埼玉県子ども読書活動推進計画」策定
平成26年7月	「第三次埼玉県子ども読書活動推進計画」策定
平成31年3月	「第四次埼玉県子ども読書活動推進計画」策定

（3）市の動向

平成21年3月	「戸田市子どもの読書活動推進計画」策定
平成22年3月	「戸田市次世代育成支援行動計画（後期計画）」策定
平成23年3月	「戸田市第4次総合振興計画」策定 「第2次戸田市教育振興計画」策定
平成24年3月	「第3次戸田市生涯学習推進計画」策定
平成26年3月	「第2次戸田市子どもの読書活動推進計画」策定
平成28年3月	「第3次戸田市教育振興計画」策定
平成29年3月	「第4次戸田市生涯学習推進計画」策定

3 計画の位置づけ



4 計画の期間

この計画の期間は、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間とします。

5 計画の対象

この計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとその保護者、子どもの読書活動の推進の関係者等も含みます。

第2章 第2次計画の取り組みと課題

1 第2次計画の取り組み

第2次計画期間における主な取り組みは次のとおりとなります。

(1) 家庭・地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

(生涯学習課)

○市内3ヶ所にある公民館では、1～4歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等をする「親子で楽しむ子育て講座」や入園前の幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせや折り紙等をする「親子で楽しむ絵本と遊び」など家庭での読み聞かせの推奨を目的とした講座を数多く開催しました。

(障害福祉課)

○児童発達支援センターに通う児童や保護者に対して、絵本の読み聞かせを実施し、児童の本と出会う機会の拡充だけでなく、保護者に対する読書に関する周知、啓発の促進や家庭での読み聞かせの推奨に努めました。

(保育幼稚園室)

○市内7か所にある市立保育園において、4・5歳児を対象にしたストーリーテリング(素話)をする「おはなし会」を、うち2ヶ所では3歳児を対象にした「わらべうた遊び」を実施し、さらに園児と保護者を対象にした「絵本とわらべうた講座」を公立保育園に併設されている子育て支援センターにて開催し、本と出会う機会の拡充に努めました。

(児童青少年課)

○市内2ヶ所にある児童センターにおいて、乳幼児とその保護者を対象に読み聞かせや手遊びを親子で一緒に本に触れる機会や遊ぶ機会を増やし、本と出会う機会の拡充や家庭での読み聞かせの推奨に努めました。

(図書館)

○毎週読み聞かせを中心とした集会事業を展開し、2歳～小学低学年の児童とその保護者を対象に絵本とわらべうたの読み聞かせ、ストーリーテリ

ングの他、科学読物研究家を招いて実験を取り入れた講座を実施し、本と出会う機会の拡充や家庭での読み聞かせの推奨に努めました。

(2) 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

(障害福祉課)

○視覚障害のある子どものため、日常生活用具として文字の拡大や色・コントラストを変えて見えやすくする「拡大読書器」給付を行いました。

(こども家庭課)

○戸田公園駅前にある「子育て広場」や市内7ヶ所ある「親子ふれあい広場」において、乳幼児向けの絵本を配置して親子が自由に読むことができるようにし、常駐しているアドバイザーによる絵本の読みきかせや、大型絵本を用いた読み聞かせイベントを開催し、本と出会う機会の拡充や家庭での読み聞かせの推奨に努めました。

(保育幼稚園室)

○市立保育園で幼児の年齢に合った絵本の冊数を充実させ、貸出を行うことで、本と出会う機会の拡充を図り、人気の貸出絵本やおすすめの絵本を園内に掲示し、コメント付で絵本の紹介をして保護者への読書に関する周知、啓発の促進を図りました。

(児童青少年課)

○市内の児童センターでは児童向けの図書の冊数を年々増やすとともに、他の市内施設で不要となった本をリサイクルし、活用しました。

(図書館)

○子供の読書活動推進や調べ学習の充実を目的に、市内小学校及び中学校と連携を図り、クラス（学級）単位で団体貸出を実施しました。

○市内小学校及び中学校との連携を目的とし、施設見学を積極的に受入れ、図書館の役割や利用方法を説明したり、「戸田市中学生社会体験チャ

レンジ事業」に積極的に参加し、職場体験を通して図書館の利用の拡充を図りました。

(3) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

(教育政策室・小学校・中学校)

○市内12ヶ所にある市立小学校及び市内6ヶ所にある市立中学校において、戸田市学校図書館図書整理員（以下「本好きサポーター」という。）を配置し、学校図書館の環境整備を図るとともに、各校の司書教諭と連携を図り、学校図書館が授業等で利用しやすいものとなりました。

(保育幼稚園室)

○市立保育園では、日常の保育や行事の中に積極的に絵本を取り入れ、読み聞かせで読んだ絵本を掲示し、保護者に紹介することで幼児と保護者に対し、読書活動の啓発と促進に努めました。

(図書館)

○児童書の周知、啓発のための広報活動として、児童向け図書館報「わいわいだより」、小学校1年生向き図書の紹介冊子「おめでとう！いちねんせい」、本館の新作児童書の一部を紹介するリスト「新しい絵本のリスト」のように、様々な年代に対して刊行物を発行しました。

○親子の触れ合いと赤ちゃんの健やかな成長を目的に、戸田市福祉保健センターと連携し、「4ヵ月児健診」に来た親子を対象に、趣旨の説明と絵本の読み聞かせ、絵本と絵本紹介冊子「あかちゃんの小箱」を贈呈するブックスタート事業を毎月1回実施し、読書の情報に関する周知、啓発の促進に努めました。

○平成29年度から4月に市内小学校新1年生全児童に「戸田市子供読書手帳」の配布を開始し、読書に関する周知、啓発の促進に努めました。

(4) 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

(こども家庭課)

○地域における子育て支援に意欲の高い市民等に対し、子育て支援や保育等の専門的知識・技術能を習得するための研修を実施し、「子育て支援員」として認定された後は市内の地域子育て支援拠点において絵本の読み聞かせ等を実施しました。

(保育幼稚園室)

○市内保育園及び保育施設で働いている保育士の資質及び保育技術の向上を図るべく、わらべうたや絵本の読み聞かせの研修を実施した。また、平成29年度からは保育園職員による研究会を実施し、「絵本から広がる子どもの世界」というテーマで各保育園において実施報告を行いながら、講師に助言をいただき、市内の全保育施設の職員が参加する「研究実践報告会」にて共有を図りました。

(図書館)

○図書館の読み聞かせ関連の講座を「おはなしボランティア」と連携して、企画・運営するとともに、ボランティアの児童本の知識と読み聞かせ等のスキルの向上を図るため、年間10回程度「おはなしボランティア養成講座」を開催しました。

○「第2次戸田市子どもの読書活動推進計画」を推進すべく、「戸田市子どもの読書活動推進委員会」を設置し、計画期間中の各年度において計画関係課に基本方針に対する取り組みの進捗及び推進状況を報告してもらい、現状や動向を把握するとともに、情報共有を図りました。

2 第2次計画及びアンケート結果を踏まえた課題

(1) 保護者や関係者への子どもの読書活動についての更なる普及・啓発

ブックスタート事業をはじめ、様々な機会を利用して保護者への啓発に努めていますが、価値観が多様化する現代社会においては、インターネット、ゲーム機、携帯電話やスマートフォンなどの普及による子どもの生活環境の変化もあり、読書習慣が身についている子とそうでない子の差が大きくなっています。

児童・生徒へのアンケート調査結果の中で、1か月間の読書量については「3冊以下」は40%であったのに対し、「7冊以上」は38.4%で前回調査（平成25年）に比べ5.5ポイント増加している状況です。いかにより多くの保護者に、子どもの読書活動の重要性を理解してもらおうかが課題となっています。

子どもの成長には、幼稚園・保育園、学校、家庭以外にも、公民館、児童館、図書館など様々な機関と地域が関わっています。これら子どもに関わる各機関や関係者に対し、子どもの読書活動についての理解や関心をさらに普及・啓発していくことが必要です。

(2) 「読書離れ」が顕著化している中学生への支援の強化

今回のアンケート調査によると、成長するにつれて、本を読むことが好きである児童・生徒の人数、本を読む冊数、学校図書館、市立図書館の利用頻度が減少する傾向にありました。特に、興味や関心が広がる中学生においては、「読書離れ」が顕著になっています。しかし、心身の成長が著しい中学生は、読書に対する興味を持つことができれば、自発的に豊かな読書体験を積むことができる年代でもあります。市立図書館と中学校との連携を密にし、どのように中学生の読書活動を支援していくかが課題となっています。

(3) 図書館と保育園・幼稚園・学校等との連携の強化

施設(保育園、幼稚園、小中学校等)へのアンケート調査結果等では、おむね読書活動の取組が行われていますが、読書活動の取組が少ない施設もあります。小学校をはじめ、施設での読み聞かせ等が、施設の職員や保護者や地域のボランティアにより積極的に実施されていますが、施設によっては、読み聞かせをお願いできるボランティアに来てほしいといった要望もありました。

図書館では、団体や施設に、団体貸出、大型絵本の貸出、出前講座などを実施してきましたが、さらなる連携を求める意見があります。また、図書館は市内小中学校に、クラス単位での団体貸出、出前講座などを実施してきましたが、図書館と学校、学校図書館とのさらなる連携を求める意見があります。

このことから、図書館が、保育園、幼稚園、小中学校等での読書推進の取組がさらに充実するように働きかけを行い、あわせて図書館と各施設との連携を強化する必要があります。

第3章 第3次計画の基本的な考え方

1 基本理念

子どもの読書活動の推進において重要なのは、「著しく成長する子ども達の生活習慣にたくさんの本とふれあう機会を与える」ことだと考えます。幼い頃に「本を読むことの楽しさ」を感じることで、大人になってもその気持ちを忘れずに「本を読むこと」が生活の一部になり、さらには自分の次の世代にもたくさんの本にふれあって欲しいと思うはずです。

これを実現させるには、それぞれの発達段階に応じたきめ細やかな施策を実施するとともに、家庭、学校、地域が連携しそれぞれの立場から、それぞれの特色を生かした読書環境の整備を実施していくことが必要不可欠であり、そのためには多くの子どもの関わる施設や大人たちと協力していきたいと考えています。

本計画は、国や県の方針、前章で挙げた第2次計画の様々な課題を踏まえつつ、より一層の子どもの読書活動の推進に努めてまいります。

2 基本方針

基本理念を達成するため、第3次計画では以下の4つを基本方針として推進していきます。

基本方針1 発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供と充実

- ・ **施策1** 乳幼児期における読書活動の推進
- ・ **施策2** 小学生期における読書活動の推進
- ・ **施策3** 中学・高校生期における読書活動の推進

基本方針2 読書環境の整備・充実

- ・ **施策1** 家庭・地域の読書環境の整備・充実
- ・ **施策2** 市立図書館における読書環境の整備・充実
- ・ **施策3** 学校図書館における読書環境の整備・充実

基本方針3 読書活動の普及・啓発

- ・ **施策1** 読書活動の普及・啓発の推進

基本方針4 読書活動の推進体制の整備

- ・ **施策1** 読書活動に携わる職員・人材の育成と支援

3 評価指標及び数値目標

○本を読むことが好きな子ども（小・中学生）の割合（単位：％）

現状値（2019年・令和元年）	目標値（2024年・令和6年）
51.2%	55.0%

○本を月に1冊以上読む子ども（小・中学生）の割合（単位：％）

現状値（2019年・令和元年）	目標値（2024年・令和6年）
93.2%	95.0%

4 計画の進行管理

計画内で掲げた取り組みの進捗状況等について、「（仮）第3次戸田市子どもの読書活動推進委員会」を設置し、そこで毎年度報告・確認を行い、進捗状況等についての点検・評価については「戸田市立図書館運営協議会」などで広くご意見を伺い、諮ってまいります。

また、小中学生と小学生の保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果をふまえ、読書活動の推進に努めます。

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

本市の基本理念を達成していくために、4つの基本方針を立て、それぞれの方針に沿った施策と、その施策を実現するために方策を立て、具体的な取組を実施することにより、子どもの読書活動の推進を目指します。

1 基本方針1 発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供と充実

子どもが読書に親しむには、子どものあらゆる生活場面において、本を楽しむ時間を取り入れるための積極的な働きかけが必要です。これらは年代を超えて一律に実施できるものではないことから、0～18歳までを「乳幼児期」、「小学生期」、「中学・高校生期」の3期に分け、その発達段階に応じた施策を実施することで、より実効性のある施策を実現できると考えます。

(1) 施策1 乳幼児期における読書活動の推進

親が愛情いっぱいの語りかけをしたり、遊びを通じた様々な体験をしていくことで発達を促す時期であることから、特に「家庭での読書の習慣化」に繋げていく取組が必要です。なお幼児期は集団生活を経験する中で、家族以外の人や動植物などとの関係を作りながら、好奇心、自立性、思いやり等を学んでいきます。

●方策1 本との出会い

妊娠期からの読み聞かせの啓発や赤ちゃんを対象としたブックスタート事業の拡充のほか、乳幼児を対象とした図書館司書やボランティアグループの読み聞かせ等による本との出会いの場をつくります。また、これらを様々な場所で展開できるよう、関係機関との連携に努めます。

●方策2 本との触れ合い

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児が本と触れ合える機会をつくります。

●方策3 親子で本を楽しむ

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児とその保護者に参加してもらう講座等を実施します。また保護者が読み聞かせ等を自発的かつ継続的に行えるように絵本の選び方や読み聞かせの方法を学ぶ講座等を開設します。

●方策4 保育園等における取組

子どもは保育士等が読む絵本や紙芝居を通して、想像力を育み、豊かな言葉を心の中に取り込んでいきます。保育園等は、図書館と連携して子どもの発達段階に応じた図書を選定することが望まれます。また地域のボランティア等と連携し、子どもが絵本や物語に親しむ環境の整備を図ります。また保護者に対し、家庭での読み聞かせの重要性や読書の喜び等を知ってもらう取組を行います。

(2) 施策2 小学生期における読書活動の推進

小学校低学年では読み書きができるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。また小学校中学年では絵本から文字や活字への移行の時期に当たり様々な本に出会うことが重要です。さらに小学校高学年では語彙も豊かになり想像力も大きく発達する時期に当たり個性や関心に応じた読書指導、読んだ本の他者との共有などが重要です。したがって、以下のとおり小学生期を3つの年代に分け、それぞれの年代に合った読書活動の推進を図り、児童が読書習慣を身に付けることができるよう努めます。

●方策1 小学校低学年 ～本を楽しむ～

読み書きできるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。家庭や学校では絵入りのやさしい読み物等を楽しんで読む習慣を身に付けられるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館で本の探し方や図鑑の読み方などを教える講座等の実施に努めます。

●方策2 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～

ひとり読みもできるようになり、読書の量と範囲を広げることが重要です。物語だけではなく、伝記、科学、歴史など幅広い領域の本や、地域の資料などを収集し、自分で調べる学習に役立てる力を育めるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館での分類の仕組みや辞書の引き方、本の構成などを教える講座等の実施に努めます。

●方策3 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～

個性や関心により本の好みが一層強くなる時期なので、フィクションもノンフィクションも、社会科学も自然科学も、多様で広く深い領域にわたる本の紹介が重要です。また子どもたちそれぞれの個性や関心に応じた読書指導が必要となります。自分の読んだ本の紹介や高学年から低学年への読み聞かせ等を行うことにより、読む力、話す力を高めるだけでなく、本の理解を深めることができます。

●方策4 読書の習慣化と学校図書館の活用

学校における「読書の時間」の充実のほか、本好きサポーターやボランティア等による読み聞かせやブックトーク等の実施に努めます。読み聞かせボランティア参加の呼びかけや本好きサポーターの計画的な配置に努めます。また学校の授業に学校図書館を積極的に活用できるよう努めます。

(3) 施策3 中学・高校生期における読書活動の推進

中学・高校生期には、様々な理由から読書離れが進む傾向にあります。しかし、自分の生き方、将来等を考えはじめ、自立性が大きく育つ時期でもあることから、中学・高校生期の読書は非常に重要です。より多くの本に触れることができるよう、読書の機会を増やす方策の推進に努めます。また読書が自己実現につながるよう、自主的な読書を尊重しつつ、必要な時は高度な専門知識等も情報提供できるよう、家族や周囲の人は読書環境を支えていくことが必要です。

●方策1 本に親しむ機会の提供

市立図書館では「戸田市中学生社会体験チャレンジ事業」で積極的に受け入れ、生徒が市立図書館を更に活用しやすくなるよう努めます。また、学校と連携し、図書委員会へ働きかけ、POP展示など、生徒の様々なアイデアを活かした読書活動推進の事業に取り組みます。

●方策2 学校図書館・市立図書館の利用の促進

生徒が資料を活用して学習することを推進し、学校図書館や市立図書館の利用につなげるために、学校図書館ではテーマ展示や印刷物の作成、市立図書館では図書資料提供や資料相談による授業支援等の充実を図ります。

2 基本方針2 読書環境の整備・充実

子どもが読書に親しむためには、読書や本を楽しむための環境が整っていないければなりません。そのためには、図書館だけでなく、子どもの生活に関わる施設等において、図書館の計画的な整備といった、子どもの読書活動の場として好ましい環境にするための働きかけが必要です。また、障害のあるなし等に関わらず、すべての子どもたちに読書に親しんでもらうため、積極的な働きかけが必要です。

(1) 施策1 家庭・地域の読書環境の整備・充実

子どもの読書を習慣付け、継続的なものとするためには、家庭や地域の身近な場所で本を手にとることができる環境作りが必要です。そのためには、市立図書館にある本を、子どもの身近な場所に貸し出すなどの支援を行い、誰もが本と親しむことができる読書環境の整備に努めます。

●方策1 団体貸出の拡充

市立図書館では小・中学校、幼稚園、保育園、学童等の子どもと密接に関わる団体に対し積極的に本の貸出しを実施し、読書環境の充実を図ります。

(2) 施策2 市立図書館における読書環境の整備・充実

市立図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすい、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策1 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実

市立図書館の児童コーナーの充実を図るほか、表示や展示、レイアウトに工夫を凝らすなど、探しやすい見つけやすい書架作りを行い、子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実を図ります。

●方策2 特別な支援が必要な子どもへの取り組み

障害のある子どもや外国語圏の子ども等、読書活動をするうえで、特別な支援が必要な子どもに向けての多様な資料収集、提供に努めます。

(3) 施策3 学校図書館における読書環境の整備・充実

学校図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすい、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策1 学校図書館の活用のための環境の整備・充実

市内小学校及び中学校に配置されている本好きサポーターが各校の司書教諭と連携し、学校図書館の資料の充実、環境整備、授業等での積極的利用の促進を図るとともに、児童・生徒に対して読書の推奨、本の紹介、調べ方の案内等を積極的に行い、子どもや教職員にとって本を探しやすい、利用しやすい環境作りに取り組みます。

●方策2 学校図書館・市立図書館の連携による環境の整備・充実

市立図書館は、学校図書館の運営や図書に関する様々な相談、学校図書館の環境改善に向けたアドバイスや、図書の定期的な貸出しの実施等に努め、学校図書館と市立図書館との積極的な連携によって学校図書館の環境整備と充実を図ります。

3 基本方針3 読書活動の普及・啓発

子どもの読書活動の推進のためには、身近な大人が様々な読書活動を知り、読書の意義について理解と関心を深めることにより、子どもの読書意欲を高め、読書習慣につながっていくと考えられることから、読書に関する様々な取組や情報について広く市民に周知を図ります。

(1) 施策1 読書活動の普及・啓発の推進

子どもの読書活動を推進するため、子どもと保護者だけでなく多くの市民に読書の大切さを知ってもらえるよう、読書に関する様々な取組や情報を積極的に収集・発信し、広く周知に努めます。

●方策1 読書活動の普及・啓発活動

子どもの読書に関する事業の展開、読書感想文の取組への啓発、学校図書館、市立図書館の活動を広く周知すること等により、市民への子どもの読書活動の意義についての普及・啓発に取り組みます。

●方策2 読書活動を推進するための広報・情報発信

広報戸田市、教育広報とだ、図書館報等の広報誌、ホームページやSNSを利用した本の紹介など、子どもの読書活動に関する地域の情報等を積極的に収集し、広く情報発信に取り組みます。

4 基本方針4 読書活動の推進体制の整備

子どもの読書活動を推進するためには、社会全体で総合的に推進しなくてはなりません。そのためには、家庭、地域及び学校をはじめとする子どもの生活を形成する関係機関が相互に連携・協力することが大切です。また、読書活動の推進を担う人材の連携・協力だけでなく、本や子どもの発達段階における特性など専門知識や技能などの資質向上も必要となります。これを踏まえ、連携や協力による新たな取り組みの創出や情報交換・共有を行うために、関係機関から形成する総合的な推進体制を整備していきます。

(1) 施策1 読書活動に携わる人材の育成と支援

読書活動に携わる人材の資質向上を図り、情報や課題の共有、また、他の図書館などの関係機関や子どもの読書に関わる地域の団体等との連携に努めます。

●方策1 読書活動に携わる人材の育成と支援

子どもの読書活動に携わる人材を育成するためには、教職員や本好きサポーター、図書館職員等への研修の機会の充実に努めるとともに、連携会議の実施により、課題の把握や情報共有を進め、図書館司書による学校図書館の活動支援に取り組みます。

●方策2 ボランティアや関係機関・団体との連携

読み聞かせなどの活動を活発化させるため、ボランティアの資質向上を支援し、連携・協力するほか、各種活動の紹介などにより、関係機関や子どもの読書活動に関わる地域の団体との連携や情報の共有を図ります。

資 料 編

○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

【アンケート調査の実施概要】

(1) 調査の目的

「第3次戸田市子どもの読書活動推進計画」の策定にあたり、第2次戸田市子どもの読書活動推進計画での取組の状況の把握、課題の発見と今後の施策の参考にするために、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和元年6月12日～7月17日 36日間

(3) 調査方法

マークシート方式及び記述方式

(4) 調査対象

ア 市内小学校（小学校2年生～6年生の児童）12校 計60学級

※各学年1学級の実施

イ 市内中学校（中学校1年生～3年生の生徒）6校 計18学級

※各学年1学級の実施

ウ 未就学児の保護者（以下の施設にて実施）

（ア）市立保育園7園

（イ）親子ふれあい広場7ヶ所

（ウ）子育て広場1ヶ所

（エ）障害者福祉施設8施設

（オ）市内児童施設2施設

エ 市内関連施設（以下の施設にて実施）

（ア）市内小中学校18校

（イ）市内高校2校

（ウ）市立保育園7園

（エ）私立保育園36園

（オ）小規模保育事業所11ヶ所

（カ）事業所内保育事業所2ヶ所

（キ）市指定家庭保育室3ヶ所

（ク）認可外保育施設13ヶ所

（ケ）私立幼稚園10ヶ所

（コ）親子ふれあい広場7ヶ所

（サ）子育て広場1ヶ所

（シ）障害者福祉施設8施設

(ス) 市内学童施設 39ヶ所

(セ) 市内児童施設 2施設

(5) 調査実施数

ア 市内小中学生

	対象児童数 (人)	実施児童数 (人)	回収率
小学校低学年 (2・3年)	734	726	98.9%
小学校高学年 (4・5・6年)	1,189	1,161	97.6%
中学生 (1・2・3年)	654	623	95.2%
合計	2,577	2,510	97.4%

イ 未就学児の保護者

	配布数 (部)	実施数 (人)	回収率
市立保育園	735	432	58.7%
親子ふれあい広場・子育て広場	310	163	52.5%
障害者福祉施設	181	71	39.2%
市内児童施設	400	225	56.2%
合計	1,626	891	54.7%

ウ 市内関連施設

配布施設数 159ヶ所

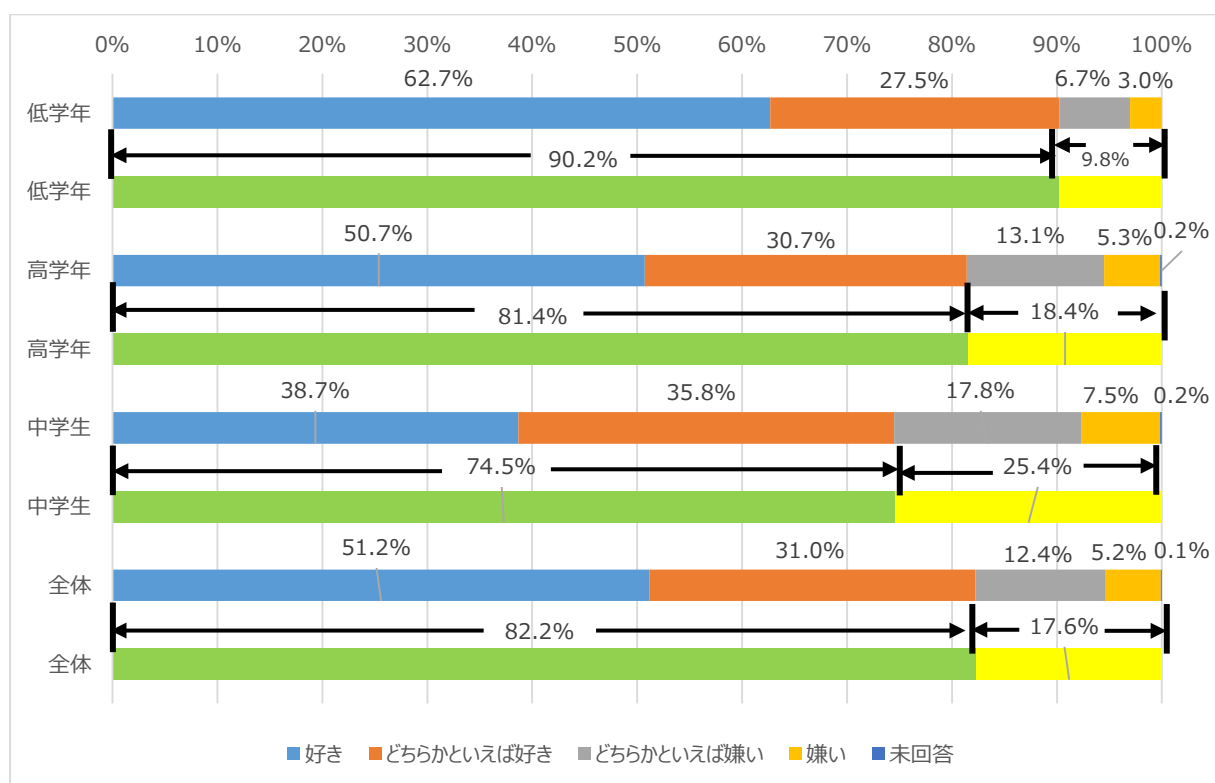
回収施設数 121ヶ所

回収率 76.1%

【アンケート調査結果（児童・生徒）】

【問1】あなたは、本を読むことが好きですか。

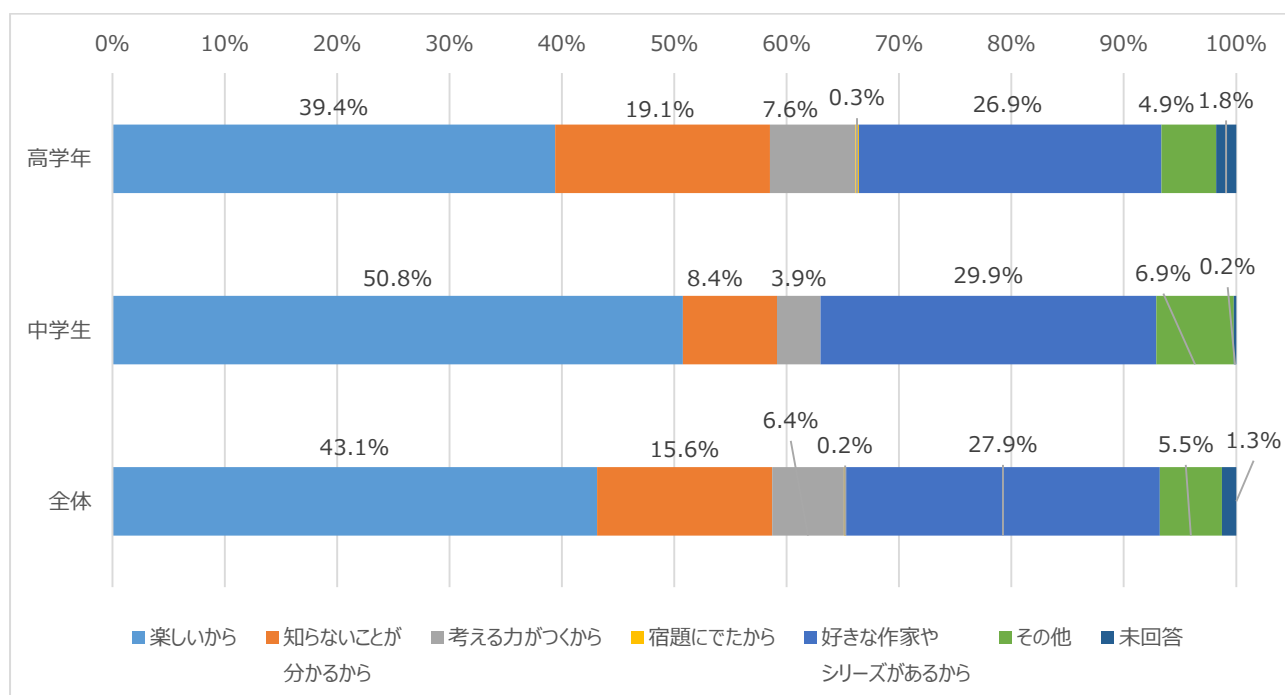
	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	未回答	合計
低学年	455	200	49	22	0	726
	62.7%	27.5%	6.7%	3.0%	0.0%	100.0%
高学年	589	356	152	62	2	1,161
	50.7%	30.7%	13.1%	5.3%	0.2%	100.0%
中学生	241	223	111	47	1	623
	38.7%	35.8%	17.8%	7.5%	0.2%	100.0%
全体	1,285	779	312	131	3	2,510
	51.2%	31.0%	12.4%	5.2%	0.1%	100.0%



全体では、8割以上(82.2%)が本を読むことが「好き」、または「どちらかといえば好き」と回答し、前回(80.4%)よりも1.8ポイント増えている。はっきり「好き」と回答した割合は、小学校低学年では62.7%、小学校高学年では50.7%、中学生では38.7%であり、成長するにつれて減少している。

【問1-①】どんな理由からですか。(小学2～3年以外対象)

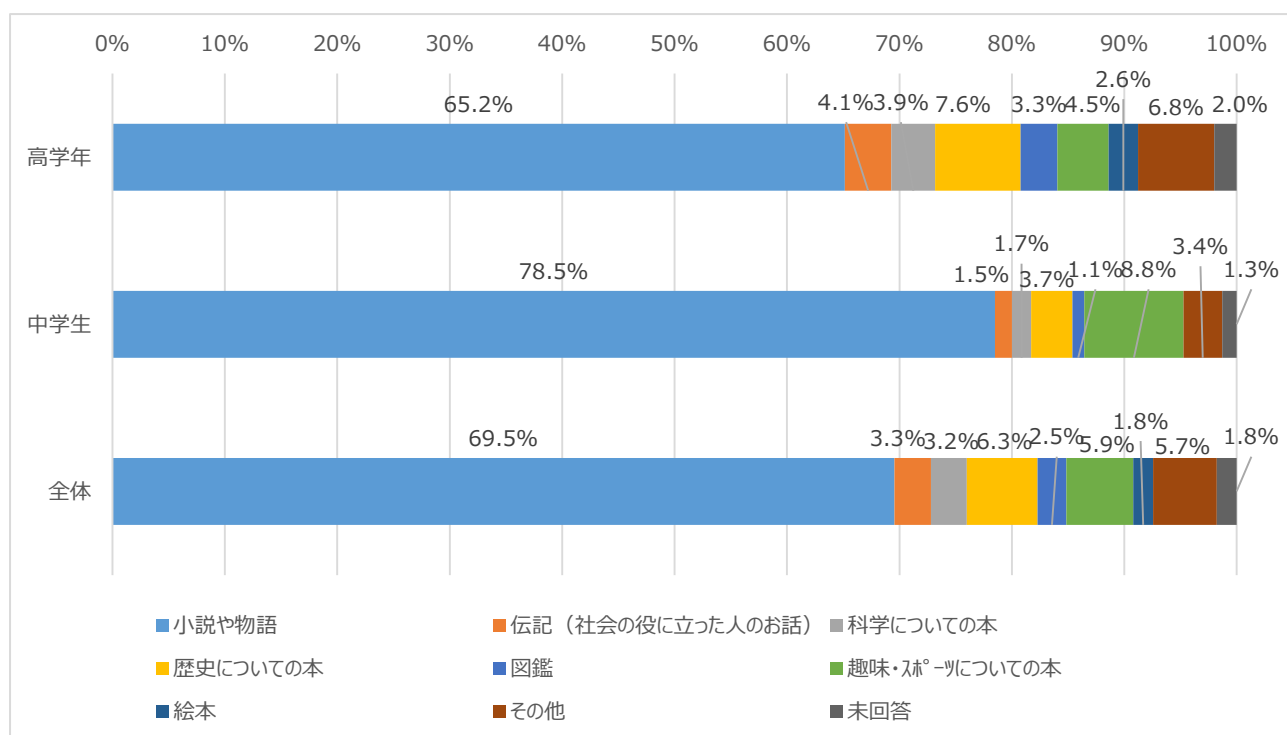
	楽しいから	知らないことが分かるから	考える力がつくから	宿題にでたから	好きな作家やシリーズがあるから	その他	未回答	合計
高学年	373 39.4%	181 19.1%	72 7.6%	3 0.3%	255 26.9%	46 4.9%	17 1.8%	947 100.0%
中学生	236 50.8%	39 8.4%	18 3.9%	0 0.0%	139 29.9%	32 6.9%	1 0.2%	465 100.0%
全体	609 43.1%	220 15.6%	90 6.4%	3 0.2%	394 27.9%	78 5.5%	18 1.3%	1,412 100.0%



読書する理由は、前回同様に、「楽しいから」、「好きな作家やシリーズがあるから」、「知らないことがわかるから」の順となった。中学生全体では、半数以上が「楽しいから」と回答している。

【問1-②】どんな本を読んでいますか。一番よく読む本を1つ選んでください。(小学2～3年以外対象)

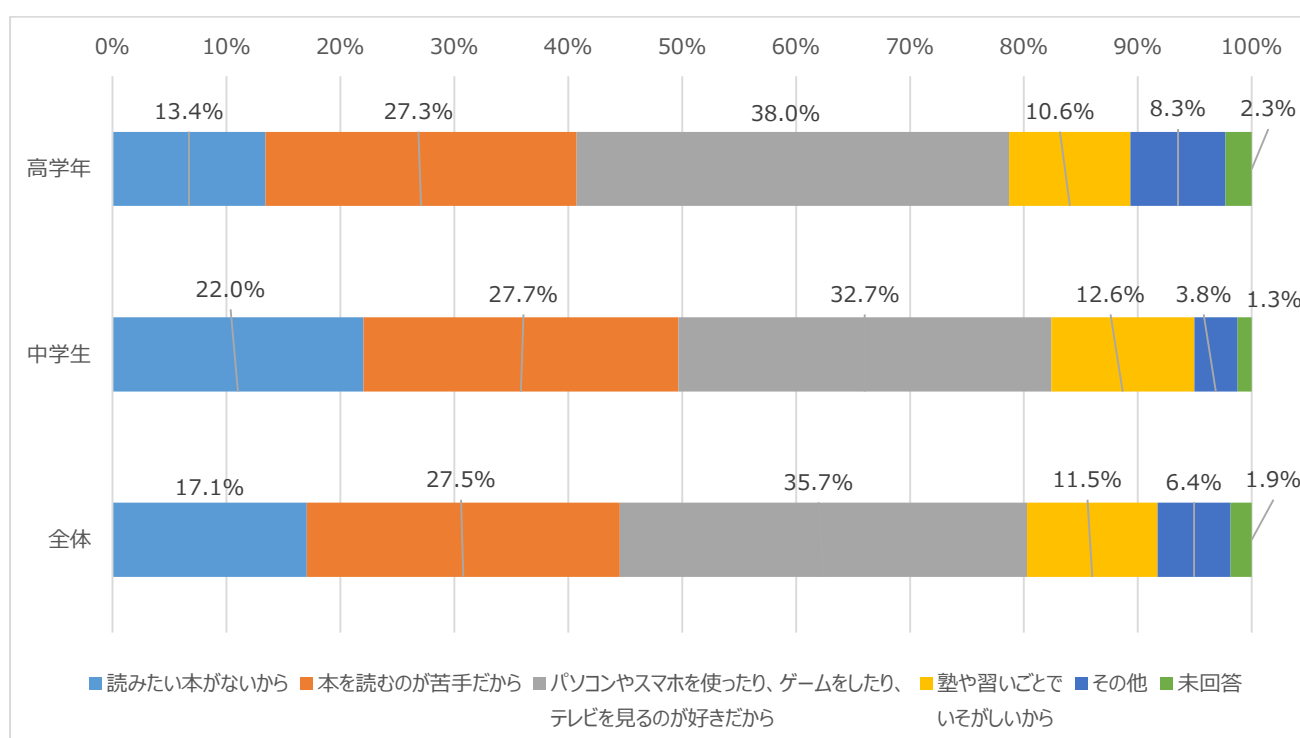
	小説や物語	伝記（社会の役に立った人のお話）	科学についての本	歴史についての本	図鑑	趣味・スポーツについての本	絵本	その他	未回答	合計
高学年	617	39	37	72	31	43	25	64	19	947
	65.2%	4.1%	3.9%	7.6%	3.3%	4.5%	2.6%	6.8%	2.0%	100.0%
中学生	365	7	8	17	5	41	0	16	6	465
	78.5%	1.5%	1.7%	3.7%	1.1%	8.8%	0.0%	3.4%	1.3%	100.0%
全体	982	46	45	89	36	84	25	80	25	1,412
	69.5%	3.3%	3.2%	6.3%	2.5%	5.9%	1.8%	5.7%	1.8%	100.0%



全体では、「小説や物語」をよく読むとの回答が69.5%で、前回(70.7%)と同様に、およそ7割がノンフィクションよりもフィクションを好んでいる。

【問1-③】本を読まない理由はなんですか。(小学2～3年以外対象)

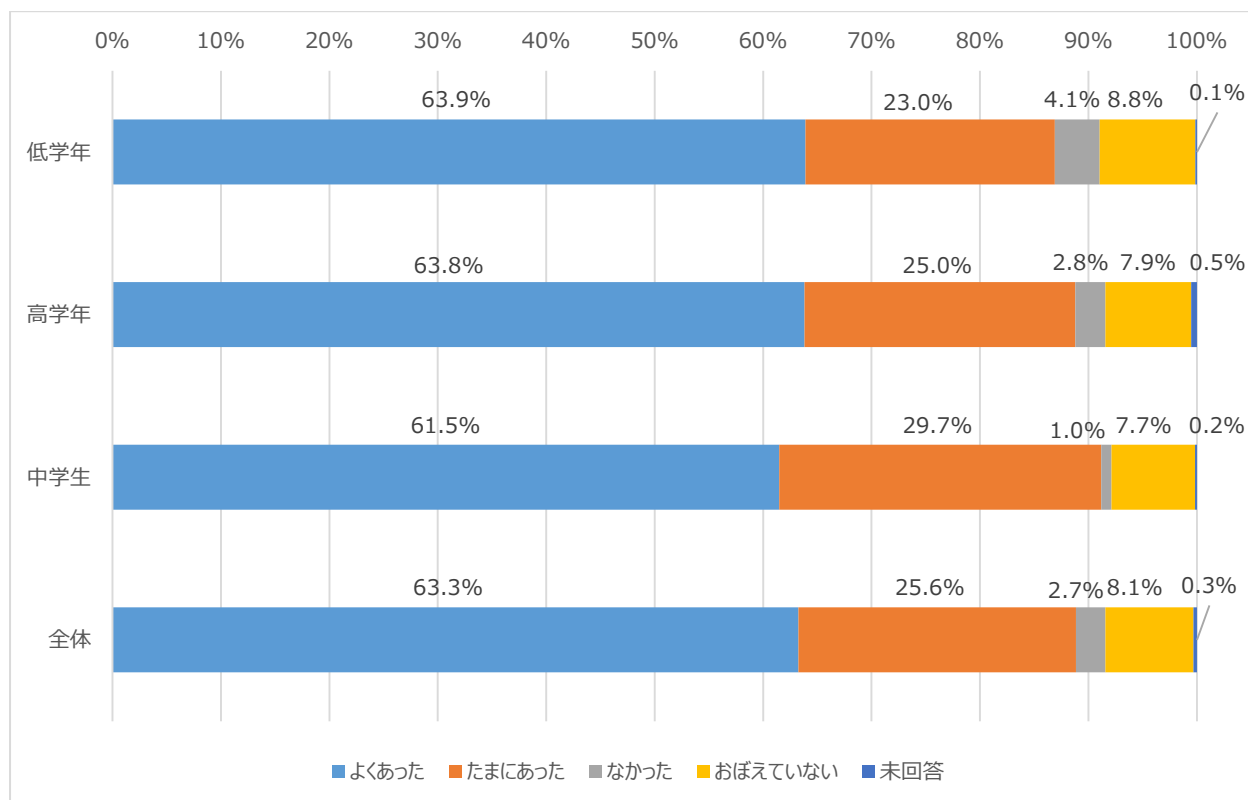
	読みたい本がないから	本を読むのが苦手だから	パソコンやスマホを使ったり、ゲームをしたり、テレビを見るのが好きだから	塾や習いごとでいそがしいから	その他	未回答	合計
高学年	29 13.4%	59 27.3%	82 38.0%	23 10.6%	18 8.3%	5 2.3%	216 100.0%
中学生	35 22.0%	44 27.7%	52 32.7%	20 12.6%	6 3.8%	2 1.3%	159 100.0%
全体	64 17.1%	103 27.5%	134 35.7%	43 11.5%	24 6.4%	7 1.9%	375 100.0%



本を読まない理由は、前回同様「パソコンやスマホを使ったり、ゲームをしたり、テレビを見るのが好きだから」、「本を読むのが苦手だから」、「読みたい本がないから」の順となった。前回と比べると、「パソコンやスマホを使ったり、ゲームをしたり、テレビを見るのが好きだから」が 12.3 ポイント減り、「塾や習いごとでいそがしいから」が 4.4 ポイント、「本を読むのが苦手だから」が 5.5 ポイント増えた。

【問2】あなたが小学校にあがる前（小学校へ入学するまでに）、家族や保育園、幼稚園の先生に本を読んでもらったことがありますか。

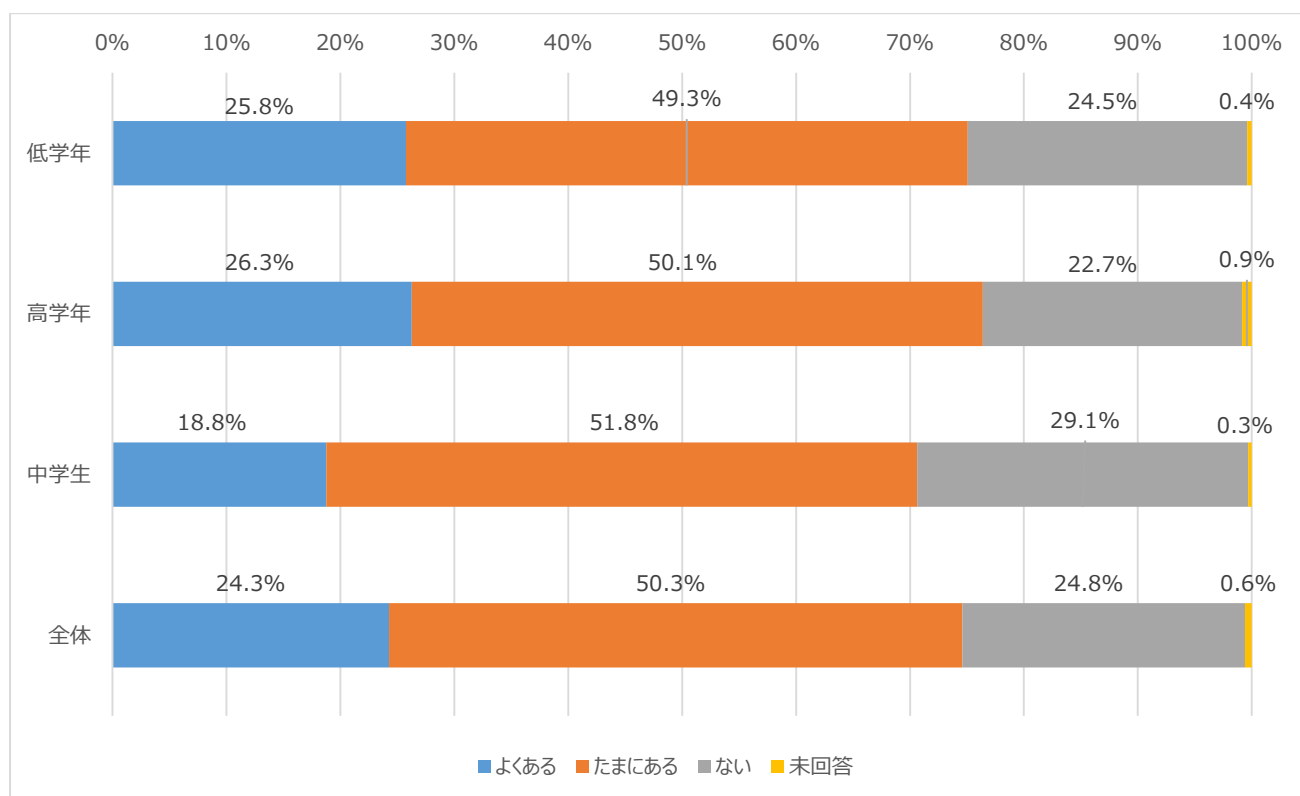
	よくあった	たまにあった	なかった	おぼえていない	未回答	合計
低学年	464	167	30	64	1	726
	63.9%	23.0%	4.1%	8.8%	0.1%	100.0%
高学年	741	290	32	92	6	1,161
	63.8%	25.0%	2.8%	7.9%	0.5%	100.0%
中学生	383	185	6	48	1	623
	61.5%	29.7%	1.0%	7.7%	0.2%	100.0%
全体	1,588	642	68	204	8	2,510
	63.3%	25.6%	2.7%	8.1%	0.3%	100.0%



全体では、「よくあった」63.3%、「たまにあった」25.6%で、合わせると88.9%で、小さいとき、ほとんどの児童生徒が家や保育園、幼稚園などで本を読んでもらった経験があることがわかる。前回と比べると、「たまにあった」が2.6ポイント減り、「よくあった」が6ポイント増えている。ブックスタート等の成果が出ている。

【問3】 あなたは読んだ本の内容について、家族や友達と話をしたことがありますか。

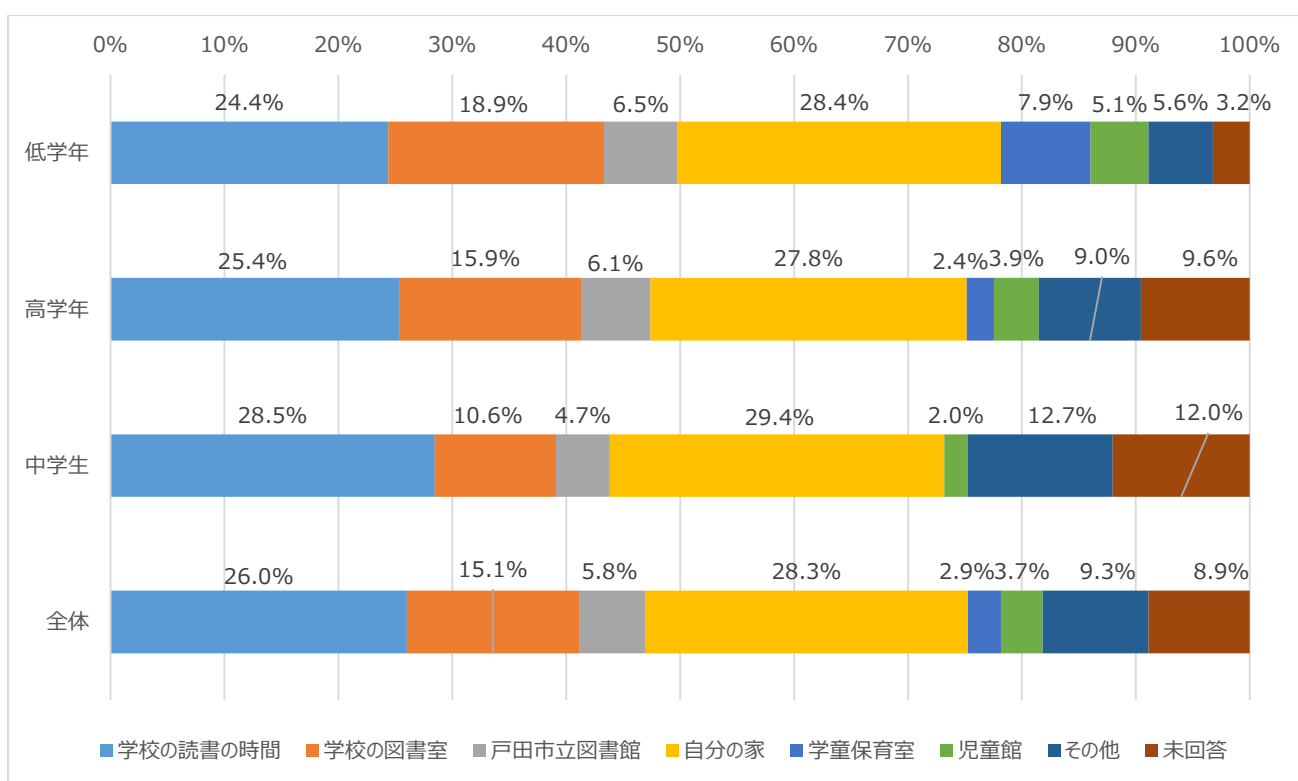
	よくある	たまにある	ない	未回答	合計
低学年	187	358	178	3	726
	25.8%	49.3%	24.5%	0.4%	100.0%
高学年	305	582	264	10	1,161
	26.3%	50.1%	22.7%	0.9%	100.0%
中学生	117	323	181	2	623
	18.8%	51.8%	29.1%	0.3%	100.0%
全体	609	1,263	623	15	2,510
	24.3%	50.3%	24.8%	0.6%	100.0%



読んだ本の内容について、家族や友達と話をしたことがある（「よくある」「たまにある」）人が、7割以上となっている。

【問4】 あなたはどこで本を読むことが多いですか。2つ（小学校4年生～中学校3年生は3つ）まで選んでください。

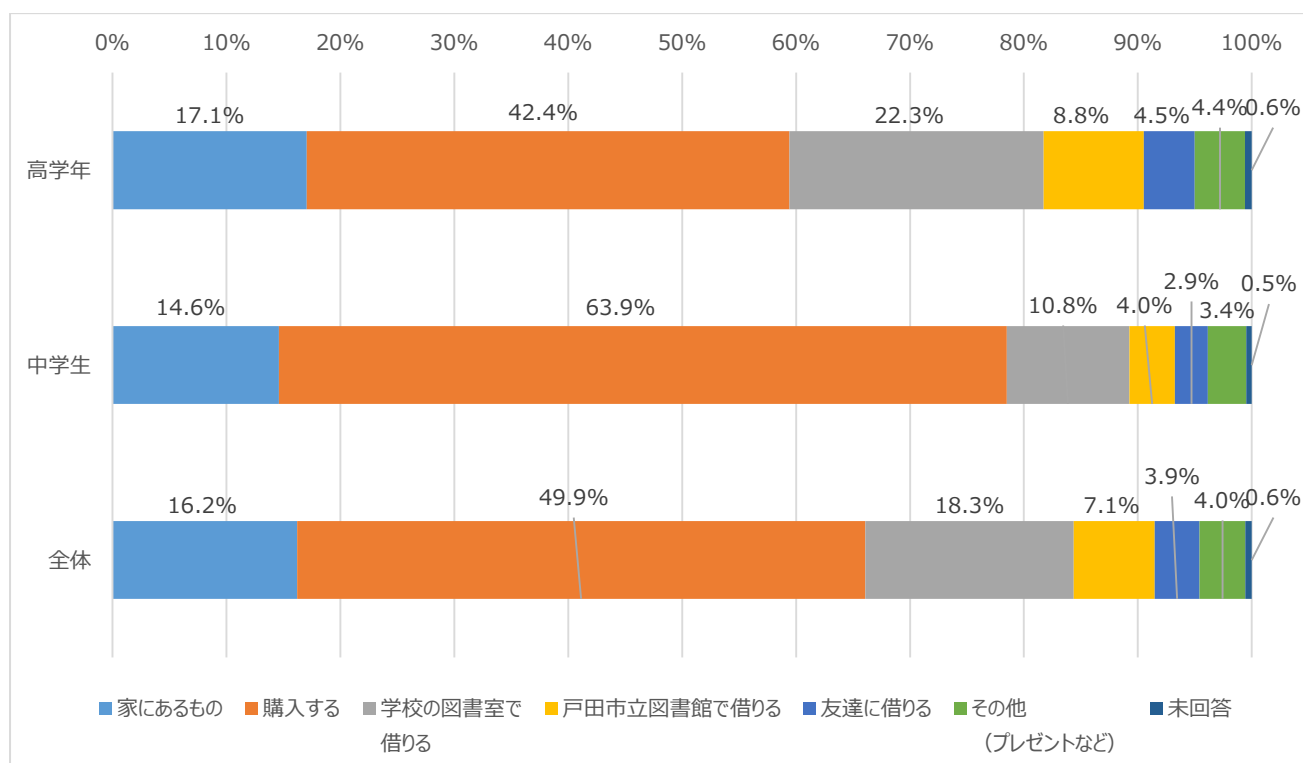
	学校の読書の時間	学校の図書室	戸田市立図書館	自分の家	学童保育室	児童館	その他	未回答	合計
低学年	354	275	94	412	114	74	82	47	1,452
	24.4%	18.9%	6.5%	28.4%	7.9%	5.1%	5.6%	3.2%	100.0%
高学年	885	553	213	967	83	137	312	333	3,483
	25.4%	15.9%	6.1%	27.8%	2.4%	3.9%	9.0%	9.6%	100.0%
中学生	532	199	88	549	0	38	238	225	1,869
	28.5%	10.6%	4.7%	29.4%	0.0%	2.0%	12.7%	12.0%	100.0%
全体	1,771	1,027	395	1,928	197	249	632	605	6,804
	26.0%	15.1%	5.8%	28.3%	2.9%	3.7%	9.3%	8.9%	100.0%



全体では、「自分の家」、「学校の読書の時間」、「学校の図書室」の順となった。小学校低学年、小学校高学年、中学生とも、「自分の家」と回答した割合が最も高い。「学校の図書室」または「戸田市立図書館」と回答した割合が、小学校低学年、小学校高学年、中学生の順に少なくなっている。成長するにつれて、図書館での読書が減少している傾向にある。前回と比べ、全体で「戸田市立図書館」と回答した割合が6.0ポイント減少している。

【問5】あなたは本を読むとき、どのようにして手に入れることが多いですか。（小学2～3年以外対象）

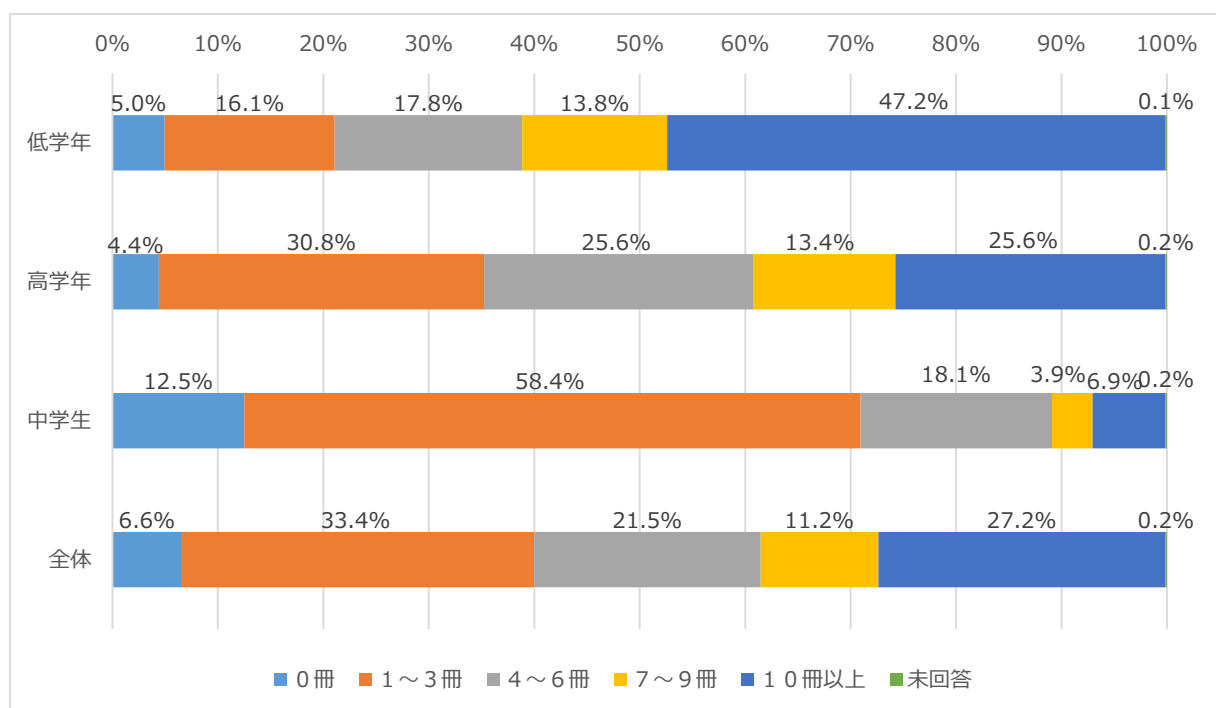
	家にあるもの	購入する	学校の図書室で借りる	戸田市立図書館で借りる	友達に借りる	その他 (プレゼントなど)	未回答	合計
高学年	198	492	259	102	52	51	7	1,161
	17.1%	42.4%	22.3%	8.8%	4.5%	4.4%	0.6%	100.0%
中学生	91	398	67	25	18	21	3	623
	14.6%	63.9%	10.8%	4.0%	2.9%	3.4%	0.5%	100.0%
全体	289	890	326	127	70	72	10	1,784
	16.2%	49.9%	18.3%	7.1%	3.9%	4.0%	0.6%	100.0%



本の入手について「購入する」と回答した割合が、小学校高学年、中学生のいずれにおいても、また各学年においても最も高くなっている。「学校の図書室で借りる」「戸田市立図書館で借りる」と回答した割合は、成長するにつれて少なくなっている。前回と比べると、「学校の図書室で借りる」は全体で4.2ポイント増えている。「戸田市立図書館で借りる」は全体で4.4ポイント減っており、特に小学校高学年は、6.1ポイント減となった。

【問6】 この1ヶ月の間に、本を何冊ぐらいよみましたか。（小学2～3年生は問5）

	0冊	1～3冊	4～6冊	7～9冊	10冊以上	未回答	合計
低学年	36	117	129	100	343	1	726
	5.0%	16.1%	17.8%	13.8%	47.2%	0.1%	100.0%
高学年	51	358	297	156	297	2	1,161
	4.4%	30.8%	25.6%	13.4%	25.6%	0.2%	100.0%
中学生	78	364	113	24	43	1	623
	12.5%	58.4%	18.1%	3.9%	6.9%	0.2%	100.0%
全体	165	839	539	280	683	4	2,510
	6.6%	33.4%	21.5%	11.2%	27.2%	0.2%	100.0%

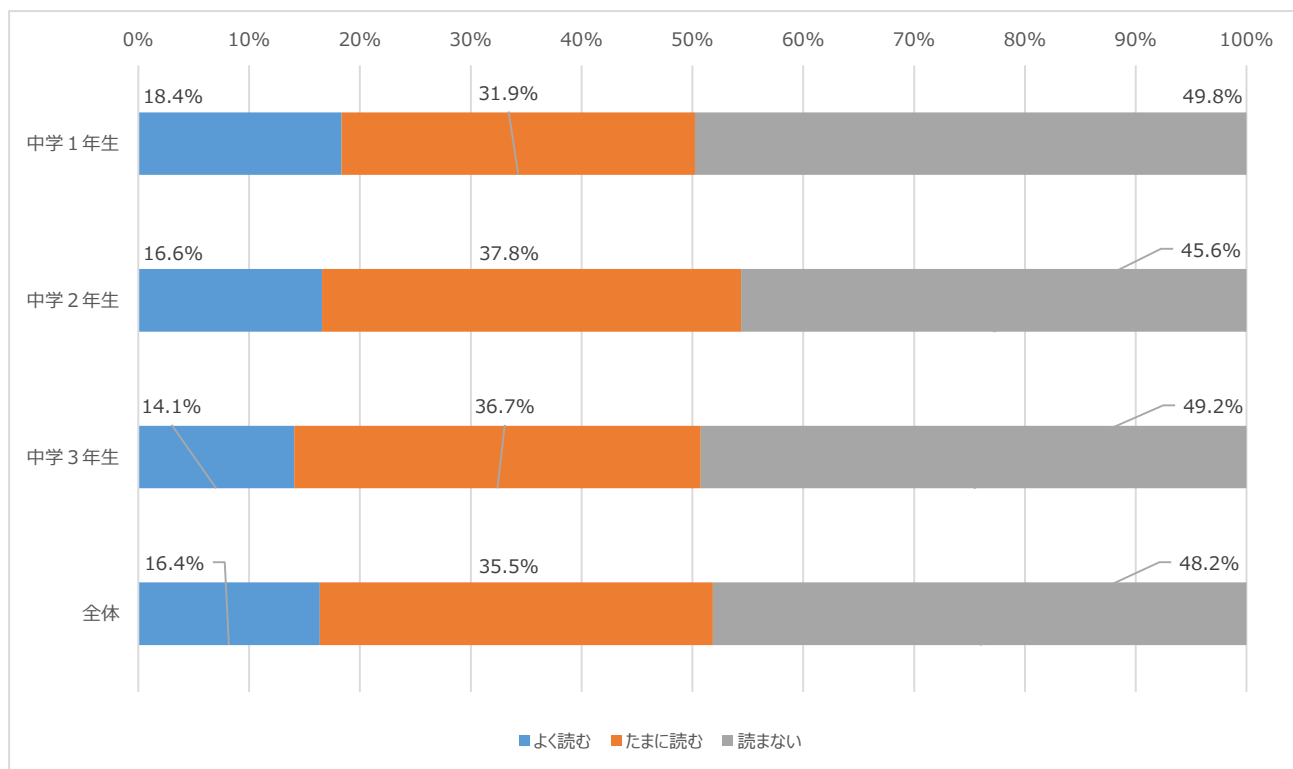


1か月に本を1冊も読まない子どもの割合(不読者)は、全体では6.6%で、前回(8.5%)と比較すると、減少している。小学校低学年では5.0%、小学校高学年では4.4%、中学生では12.5%となっており、前回と比較すると、いずれにおいても減少している。

平成30年の「埼玉県学力・学習状況調査」での設問「1か月に、何冊ぐらいの本を読みますか」で、「1冊も読まない」の回答は、小学校高学年10.3%、中学生17.0%で、比較すると、いずれにおいても当市の児童生徒の不読者は少ないことがわかる。

【問7】 パソコン、スマホ、タブレット、ブックリーダーなどを利用して、本を読んだことはありますか。（新規・中学生のみ対象）

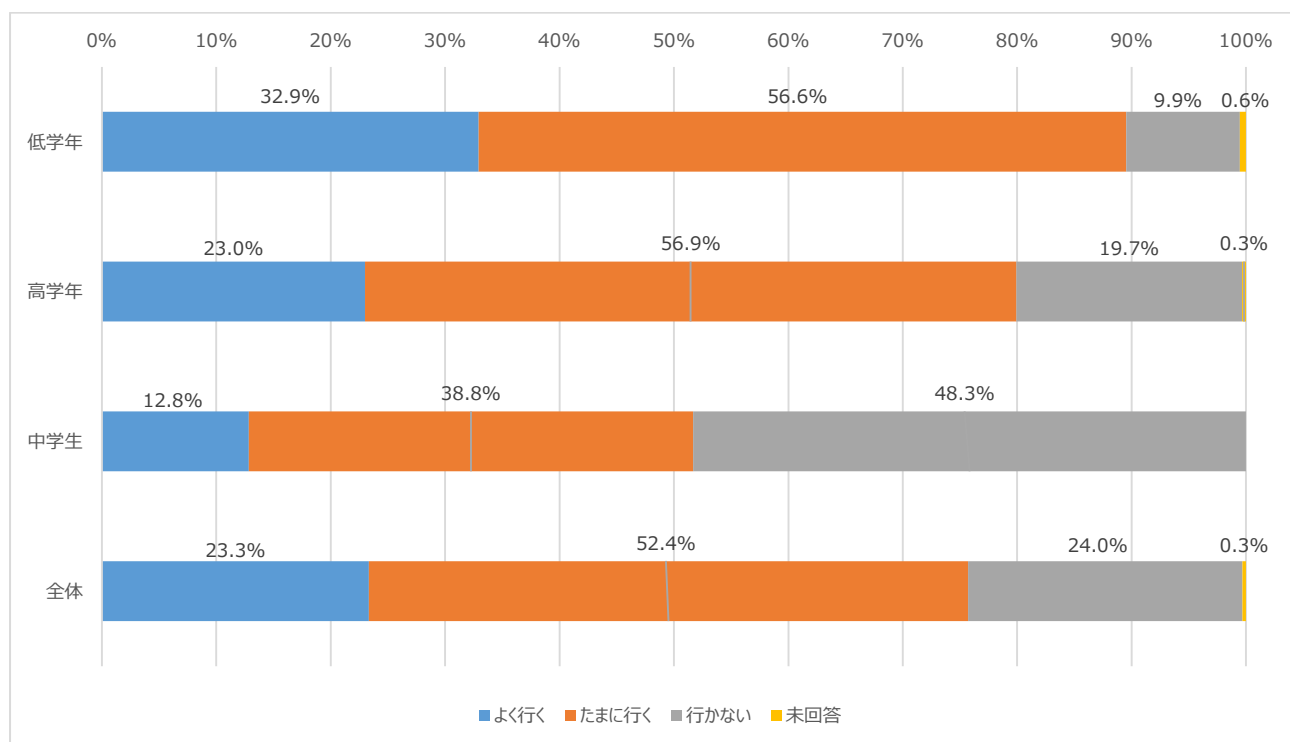
	よく読む	たまに読む	読まない	未回答	合計
中学1年生	38	66	103	0	207
	18.4%	31.9%	49.8%	0.0%	100.0%
中学2年生	36	82	99	0	217
	16.6%	37.8%	45.6%	0.0%	100.0%
中学3年生	28	73	98	0	199
	14.1%	36.7%	49.2%	0.0%	100.0%
全体	102	221	300	0	623
	16.4%	35.5%	48.2%	0.0%	100.0%



電子図書を読んだことがある中学生は、全体で 51.9%と半数以上となった。「よく読む」と回答した生徒が全体で 16.4%おり、紙の読書と別の読書スタイルが浸透してきていることがうかがえる。

【問 8】 あなたは学校の図書室へ行きますか。(小学 2～3 年生は問 6、小学生 4～6 年生は問 7)

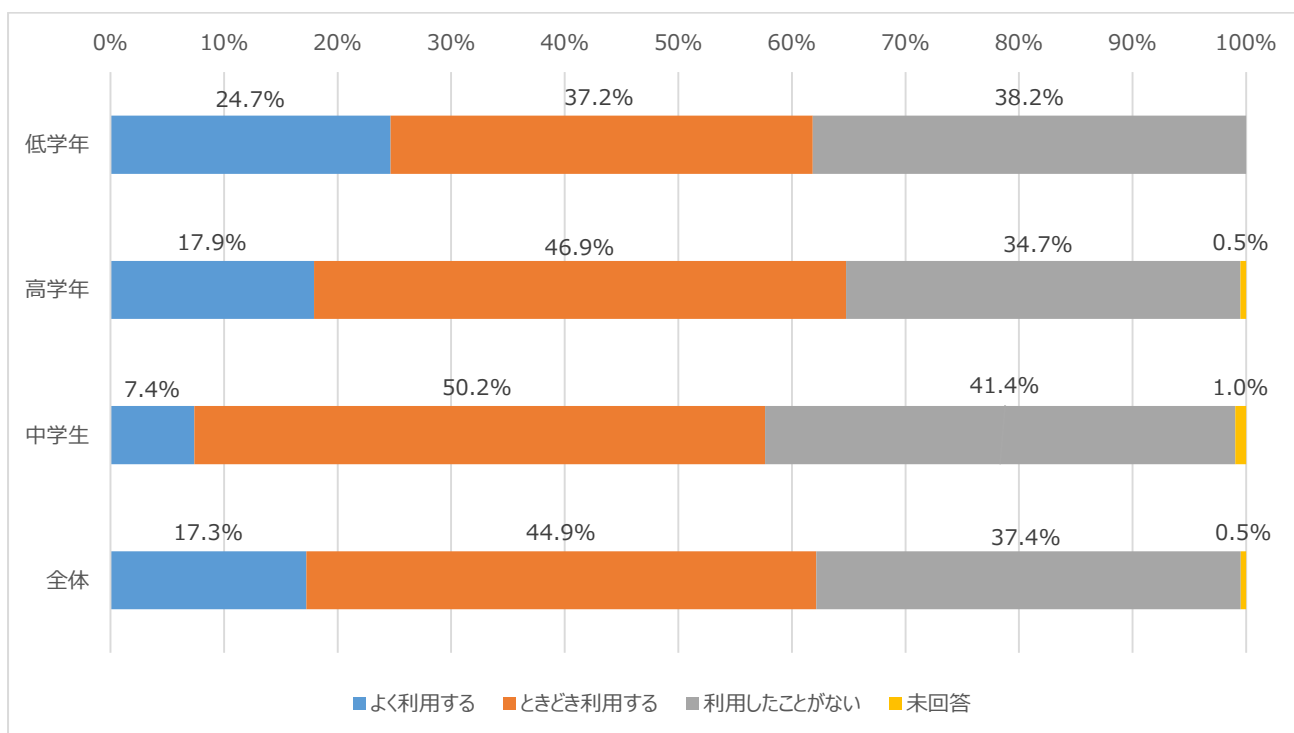
	よく行く	たまに行く	行かない	未回答	合計
低学年	239	411	72	4	726
	32.9%	56.6%	9.9%	0.6%	100.0%
高学年	267	661	229	4	1,161
	23.0%	56.9%	19.7%	0.3%	100.0%
中学生	80	242	301	0	623
	12.8%	38.8%	48.3%	0.0%	100.0%
全体	586	1,314	602	8	2,510
	23.3%	52.4%	24.0%	0.3%	100.0%



学校の図書室へ行く(「よく行く」「たまに行く」)人は、全体で 75.7%で、前回(77.3%)より 1.6 ポイント減った。また、行かない人は、全体で 24.0%で、前回(22.5%)より 1.5 ポイント増えた。特に、中学生については、48.3%と前回(42.8%)から 5.5 ポイント増え、半数近くになっている。

【問9】あなたは戸田市立図書館を利用したことがありますか。(小学2～3年生は問7、小学生4～6年生は問8)

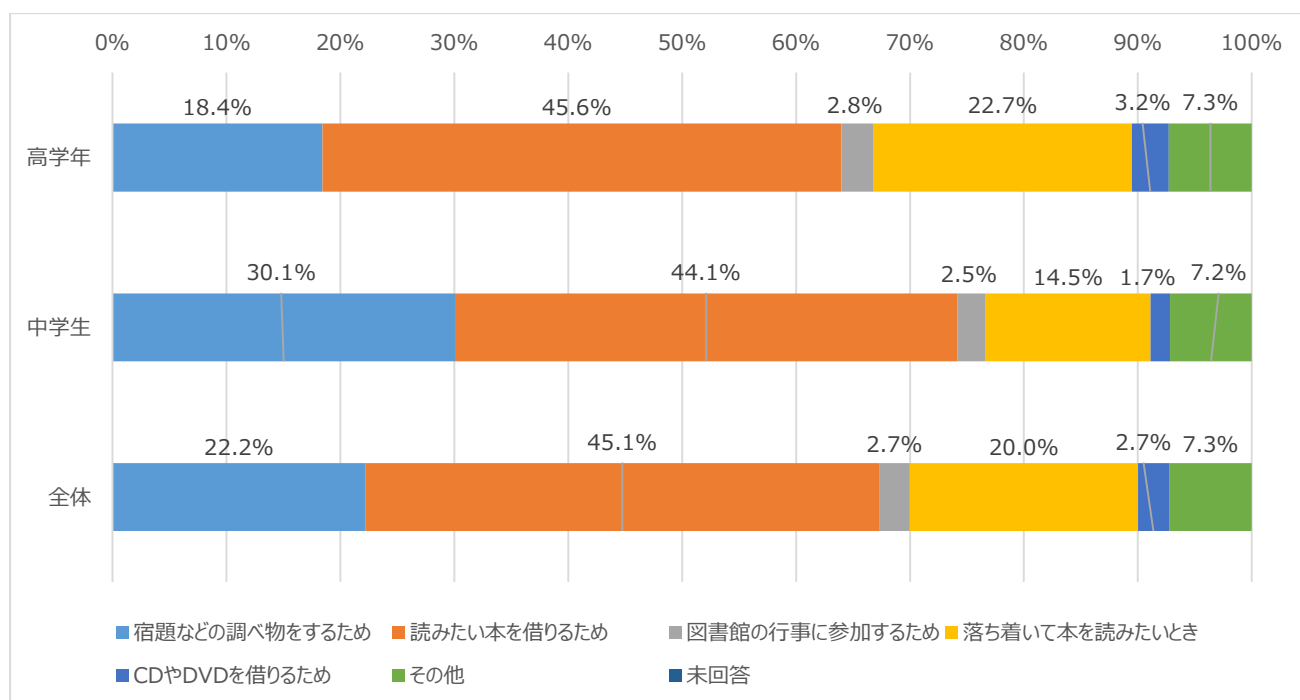
	よく利用する	ときどき利用する	利用したことがない	未回答	合計
低学年	179	270	277	0	726
	24.7%	37.2%	38.2%	0.0%	100.0%
高学年	208	544	403	6	1,161
	17.9%	46.9%	34.7%	0.5%	100.0%
中学生	46	313	258	6	623
	7.4%	50.2%	41.4%	1.0%	100.0%
全体	433	1,127	938	12	2,510
	17.3%	44.9%	37.4%	0.5%	100.0%



戸田市立図書館の利用について、利用する(「よく利用する」「ときどき利用する」)人が、全体で62.2%で前回(75.7%)から大幅に13.5ポイント減少した。特に中学生については、57.6%で前回(73.1%)からと15.5ポイント減少した。

【問9-①】問9（問8）の質問で（ア）（イ）を選んだ人だけ教えてください。どんな時に利用しますか？（2つまで選んでください。）（小学2～3年以外対象質問）

	宿題などの調べ物をするため	読みたい本を借りるため	図書館の行事に参加するため	落ち着いて本を読みたいとき	CDやDVDを借りるため	その他	未回答	合計
高学年	245	606	37	302	43	97	0	1,330
	18.4%	45.6%	2.8%	22.7%	3.2%	7.3%	0.0%	100.0%
中学生	193	283	16	93	11	46	0	642
	30.1%	44.1%	2.5%	14.5%	1.7%	7.2%	0.0%	100.0%
全体	438	889	53	395	54	143	0	1,972
	22.2%	45.1%	2.7%	20.0%	2.7%	7.3%	0.0%	100.0%



戸田市立図書館の利用目的は、全体では「読みたい本を借りるため」、「宿題などの調べ物をするため」、「落ち着いて本を読みたいとき」の順となった。「宿題などの調べ物をするため」は、小学校高学年が18.4%、中学生が30.1%で、学年が上がるにつれ割合が上っており、成長とともに戸田市立図書館で学習や調べ物をする事が多くなっている傾向がある。

【問9 - ①】 (その他の回答)

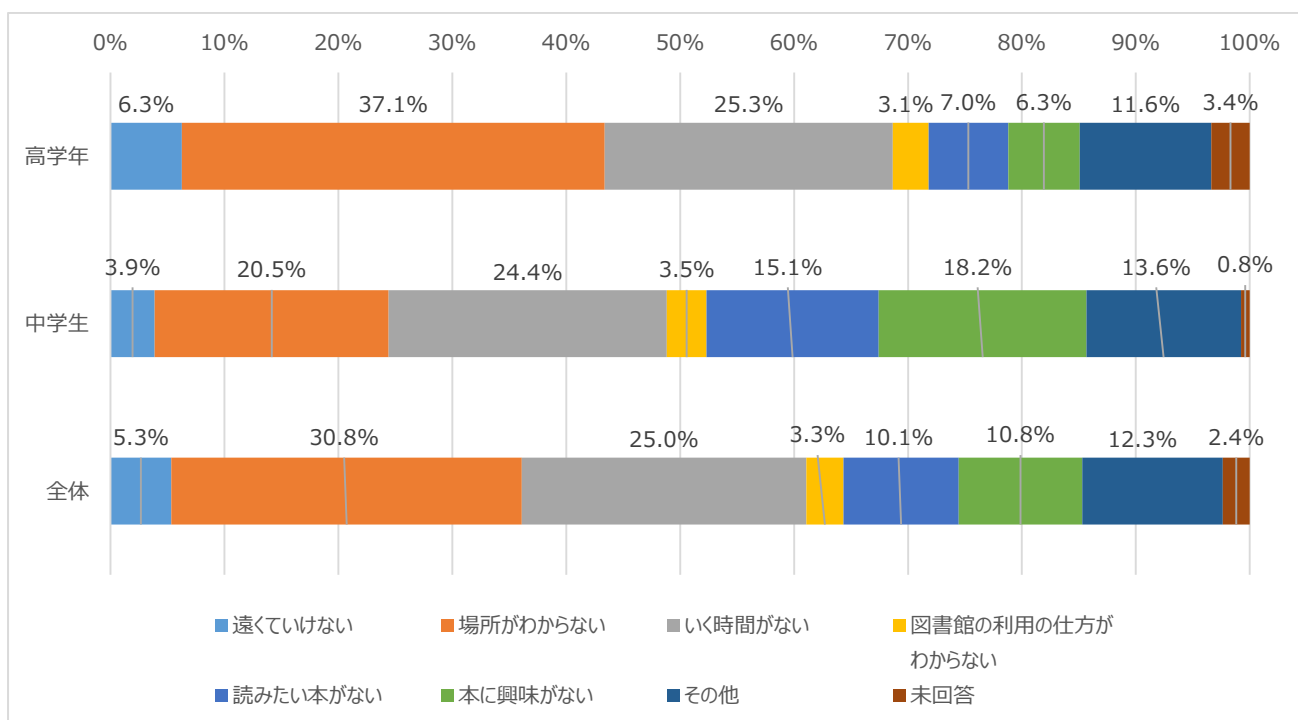
意見	計
家族のつきそい、親に言われて	16
【特定の本】を借りる(探す)ため	17
本を読みたいとき	6
暇つぶし、やることがないとき	27
勉強や宿題(特に読書感想文)をやるため	43
他の目的のついでに	5
家や学校に読みたい本がない	8
その他	16
合計	138

(その他の主な意見)

- ・色々な世界が見たいから
- ・自分の想像力を身に付けたいから
- ・本がたくさんある
- ・学童で行くとき
- ・いろいろな本があって読んでいて楽しいから
- ・紙芝居を借りるため
- ・古本をもらうため
- ・夏休みなどの長い休みのとき
- ・静かなところで落ち着きたいとき
- ・母が小学校で本を読んでいて、借りに行くとき一緒に行った
- ・博物館に行った
- ・親に頼まれた本を借りるとき
- ・気分はらしに行ったりする
- ・なんとなく

【問9-②】問9（問8）の質問で（ウ）を選んだ人だけ教えてください。利用しない理由はなんで
すか。（小学2～3年以外対象質問）

	遠くていけない	場所がわからない	いく時間がない	図書館の利用の 仕方がわからない	読みたい本がない	本に興味がない	その他	未回答	合計
高学年	26 6.3%	153 37.1%	104 25.2%	13 3.2%	29 7.0%	26 6.3%	47 11.4%	14 3.4%	412 100.0%
中学生	10 3.9%	53 20.5%	63 24.4%	9 3.5%	39 15.1%	47 18.2%	35 13.6%	2 0.8%	258 100.0%
全体	36 5.4%	206 30.7%	167 24.9%	22 3.3%	68 10.1%	73 10.9%	82 12.2%	16 2.4%	670 100.0%



戸田市立図書館を利用しない理由は、全体では、「場所がわからない」、「いく時間がない」の順となった。戸田市立図書館の認知度が低いという結果となった。

【問9 - ②】 (その他の回答)

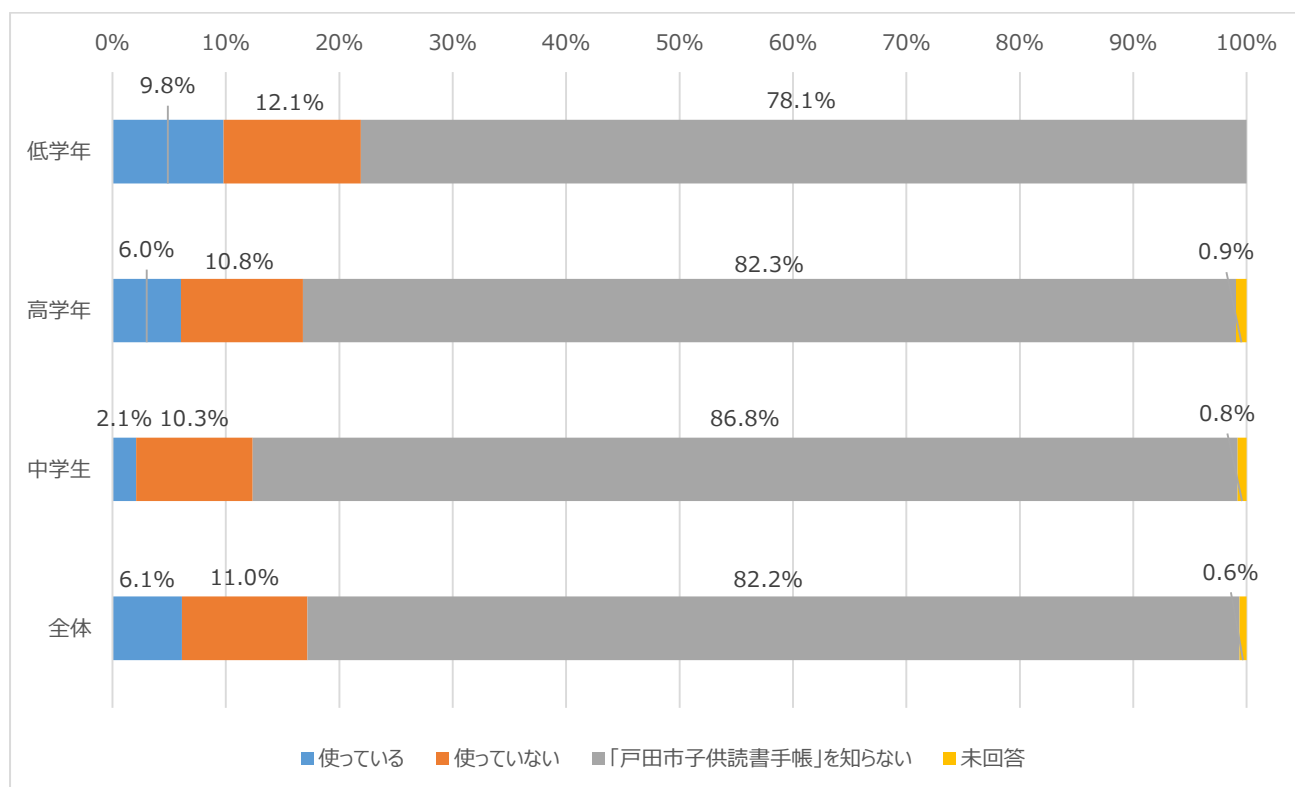
意見	計
場所などがわからない	17
(本や図書館に) 興味が無い、行く必要が無い	14
家や学校で充分	7
他(市外)の図書館に行く	11
学校や習い事で忙しい、時間がない	8
(遠いなど) 行くのが面倒	10
その他	17
合計	84

(その他の主な意見)

- ・カードをなくした
- ・貸し出しカードの期限が切れている
- ・前の学校で読んだ本があって他は読みたい本がない
- ・連れて行ってくれない
- ・親が行かせてくれない
- ・読みたい本は買っている
- ・めんどくさいから
- ・本を破ってしまったら嫌だから
- ・本を落ち着いて読めない
- ・借りられない
- ・引っ越してきたので
- ・友達と遊びたいから
- ・工事のため
- ・くさい、本の種類がない、汚い

【問10】「戸田市子供読書手帳」を使っていますか。（小学2～3年生は問8、小学4～6年生は問9）

	使っている	使っていない	「戸田市子供読書手帳」を知らない	未回答	合計
低学年	71 9.8%	88 12.1%	567 78.1%	0 0.0%	726 100.0%
高学年	70 6.0%	125 10.8%	955 82.3%	11 0.9%	1,161 100.0%
中学生	13 2.1%	64 10.3%	541 86.8%	5 0.8%	623 100.0%
全体	154 6.1%	277 11.0%	2,063 82.2%	16 0.6%	2,510 100.0%



「戸田市子供読書手帳」を使っている人は、全体では6.1%となった。「戸田市子供読書手帳」を知らない人が、全体では82.2%となり、認知度が低いという結果となった。

【問 1 1】 あなたが戸田市立図書館について「ここが足りない！」「こうしたらもっと良くなる！」と思うところがあったら自由に書いてください。（小学 4 ～ 6 年生は問 1 0）

意見	計
本が見つげにくい、館内地図が欲しい	49
内装や雰囲気は暗い、汚れているなど	20
人気本やシリーズ作品の増冊、予約が来ない	27
工事について（工期が長いなど）	34
本のリクエスト	200
（読みたい）本が少ない、面白い本が読みたい	34
椅子や机、学習スペースが少ない	36
売店、飲食スペースの設置	7
貸出期間の延長、貸出冊数の増加	19
検索機やPCの設置	16
おすすめ図書コーナー設置	31
場所が分からない(遠い)、市内に看板などの設置	36
その他	100
合計	609

（本のリクエストの内訳）

リクエスト内訳	計
小説・物語	34
マンガ	23
子供向け	20
新刊	26
ホラー	8
ライトノベル	12
学習	12
スポーツ	6
外国語	5
歴史	6
特定の作家・作品	7
その他	40
合計	199

【問 1 1】（その他の主な意見）**（イベント）**

- イベントを増やしてほしい
- 一か月に 20 冊図書館の本を借りた人にはしおりをプレゼントするなど、本が読みたくなるサービスをしたほうが良いと思う
- 夏にプラネタリウム博物館を出してほしい。
- 防音性の壁を使って勉強スペースを作ってほしい。
- 児童子ども体験会をやってほしい。
- 土器を作る名人を読んで土器を作ってプレゼントしてほしい。
- ポイントを貯めて景品をゲットなどの仕組みがあれば利用者も増える。本の感想、紹介の紙を書き。掲示する。ポイントを集計してランキング化する
- 月に一度くらい、本の内容を題材にした劇をイベントでやったら良いと思う。

（立地）

- 芦原小の近くにも作ってほしい。
- 学校からも家からも近く、すぐ行ける。
- いつでもいけるので、借りたい本があったらすぐに借りて読める。
- もっと近い場所にできたら良いと思います。
- 図書館を増やしてほしい
- 図書館が近くにあれば、行きたいときに行ける
- 今度は戸田市立図書館にも行ってみたいと思う。
- 笹目小学校の近くに図書館を作ってください。
- 少し遠くても広く、きれいで本の種類が多いサウスピアの図書館へ行く。
- 昔はお母さんとよく行って本を借りていたけど、小学校に上がってから忙しくなって行けなくなってしまった。もう少し近ければと思う。

（図書）

- もう少し手づくりの本などを増やしてほしいです。
- 置いてある本が古く、つまらない。
- 読みたいジャンルを考えたら良いと思う。
- 子ども向けの本もあり、紙芝居もあって面白い。
- 学校や家にはない本がある。

- 近くの図書館にもない本があるので助かる。
- 子どもの部屋では本や紙芝居を壊す子がいるので、カバーを付けたらいいと思う。

(施設環境)

- とても静かで勉強に使いやすい空間だと思う。学校では落ち着いて読めないのに、図書館は良い。
- そのままでもとてもいい図書館だと思います。
- また借りたい。カードで簡単に借りられるのは良い。
- 風景を見ながら本を読む
- あいパルなどで図書館の本を調べられるのでうれしい。図書館の広いあの空間が好き。
- 読んだ人の感想を書く場所が欲しい
- もっと内装を楽しくする。3階だけではなく、5階まで作ってほしい
- 広い。2階にたくさんものがある。
- 図書館の中にトイレを作してほしい。
- 人が多いので、広くして欲しい。もっと豪華にしたほうがいい
- 駐輪場や駐車場を増やしてほしい
- 落ち着いた音楽を流してほしい
- 冷暖房を強くしてほしい。時計を増やしてほしい。
- 児童スペースを広げてほしい、子どもの読むスペースにもっと本を置いてほしい。
- 本を借りるとき、たまに破れているときがある。「本を大切にしよう」などの啓発ポスターが必要だと思う。
- 美笹支所にキッズスペースをつかってほしい。
- 小さい子どもは、本を手にとっても自分で読めない。借りたくはないが、読みたいときに読み聞かせをしてあげると「静かにしてください」と注意される。声に出してもいいような読み聞かせができるスペースをすべての図書館に設けてほしい。
- 博物館もあってよい。湖のようなところに生き物を増やしてほしい。博物館を広くしてほしい。
- サウスピーアのような自由スペースをたくさん作って欲しい。
- 友達としゃべりながら本を読んでいいスペースを作って欲しい。
- 資料館があり、子どもが喜びそうなものがある。
- 誰でも来やすいように緑を多くする。静かに読むところと、みんなで楽しみながら読むところをつくる。
- 美笹分室で、読書や宿題をしているときに小1～小2の子達がうるさい。
- 自習室で騒いでいる生徒が多い。フリースペースにいる人が集中できないので改善してほしい。
- 本棚が高い
- 皆が読みやすい本を下に置き、読まなそうな本は棚上に置く。

(サービス)

- 家に本が届いたら、時間がない人でも読めるようになると思う。
- 借りたくても借りたい本がない場合のアンケート用紙を作れば良いと思う。
- 他の図書館の本を一時的に貸し借りしてバリエーションを増やしてはどうか
- 限られてはいるが、本をもらえることもある。
- 検索機があり探やすく、予約、貸出がしやすいのでよく利用しています。
- 予約された本を受け取り用の棚にまとめ、カードをスキャンして出た番号の棚から探して借りる予約貸出が県外の図書館であった。使いやすかったので本館も導入してほしい。
- カードを作るのも大変で、本を破ってもいけない。借りにくい。
- 返却が面倒で借りようと思えないので、返却場所を増やすといいと思う。
- もっと借り方をわかりやすくして、店員さんの数を増やしたらもっと人が来やすくなると思う。
- 係の人に質問しやすくしてほしい。
- 美笹分室の方々が、勉強スペースなどで少しでもうるさくすると怖いので、もう少し優しく迎えて欲しい。
- 詳しく書いてほしい。字を大きくしてほしい。
- ブランコをつけてください

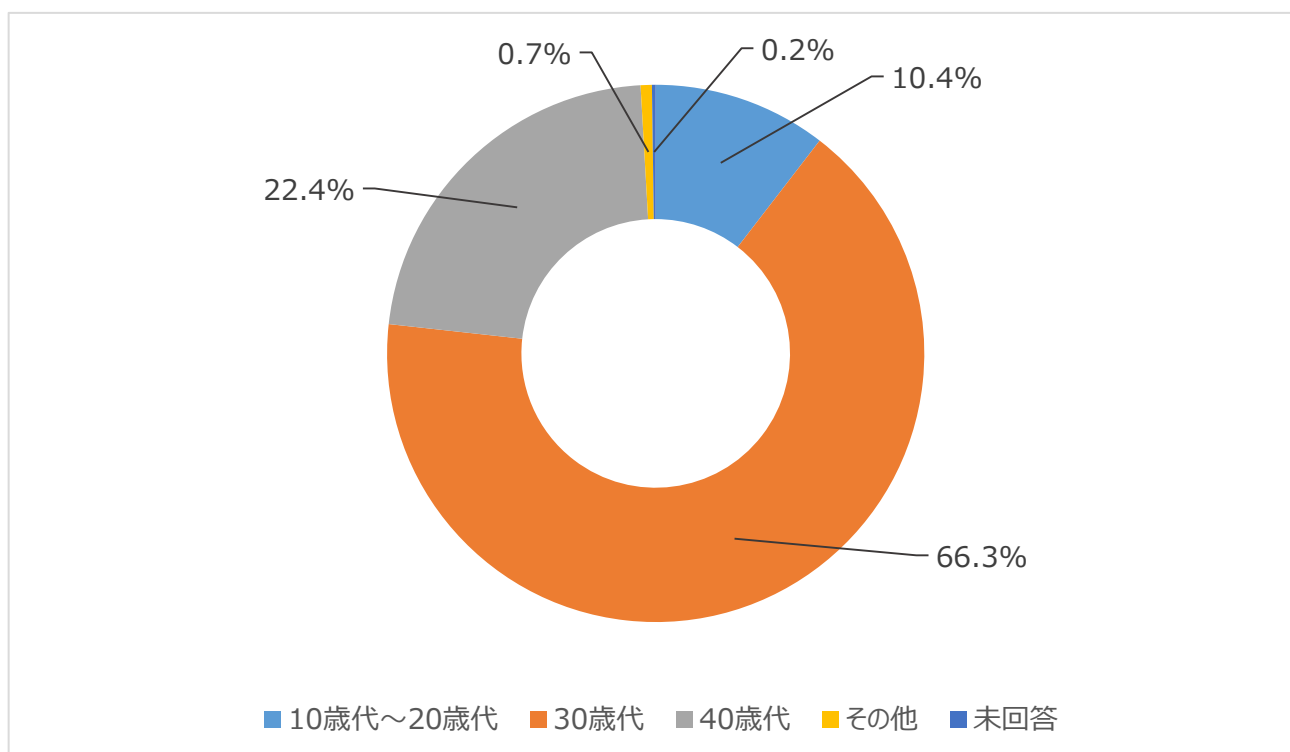
(その他)

- 本を読んでいない人が多い。
- 最近行ってないから手帳をやってみたい。
- 戸田市子供読書手帳を最近まで知らなかったので PR してほしい。
- 図書館について何も思っていない。印象付けることをしていろいろな人に知ってもらいたいと思う。
- 本がどれだけいいものなのか伝えてほしい。
- 本が嫌いなので詳しいことは知らない。でもいま本を好きにしようとしている。
- あいパルのように、名前を呼びやすくする
- 使わないのでいらない。本ならそちらで売っている、学校の図書室くらいでいい。広大な敷地なので、他のスーパーやコンビニ、駐車場にして市民のためになるところにした方がいい。
- 博物館にあるものが変わらない。

【アンケート調査結果（保護者）】

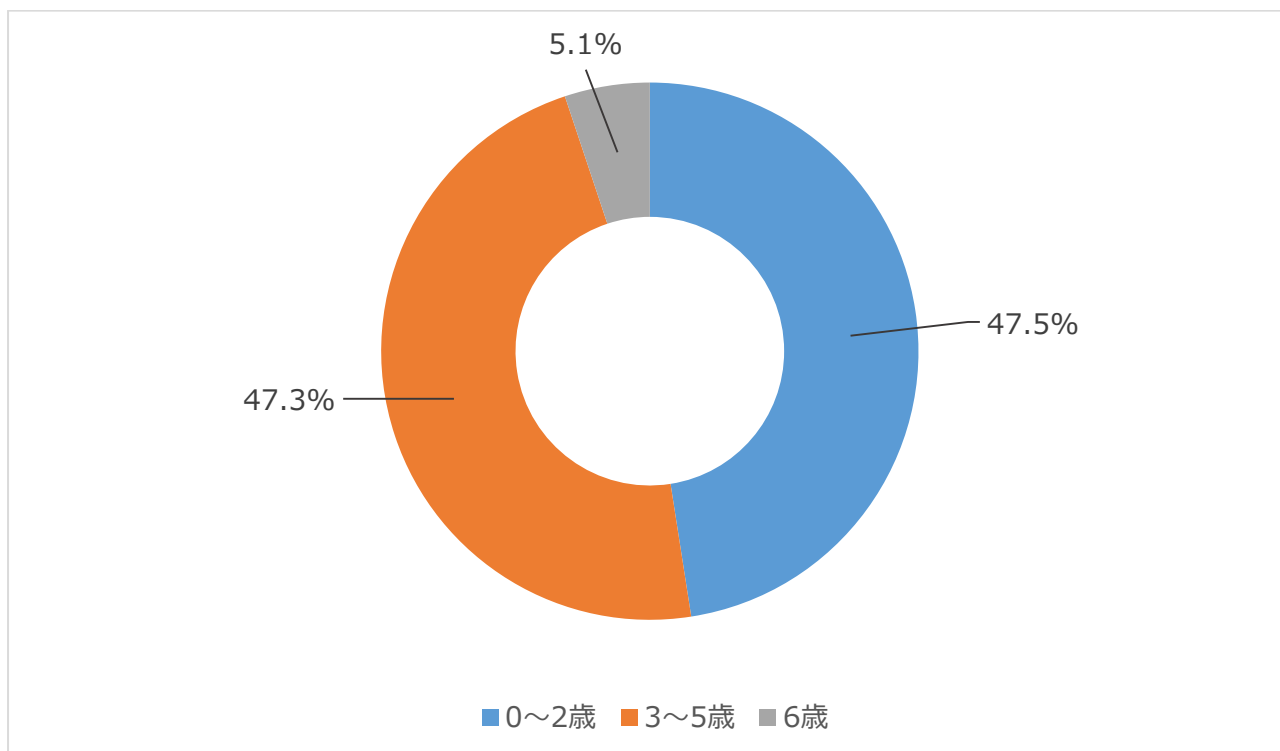
【問1】回答者（記入される方）の年代をお教えてください。

10歳代～20歳代	30歳代	40歳代	その他	未回答	合計
93	590	199	6	2	890
10.4%	66.3%	22.4%	0.7%	0.2%	100.0%



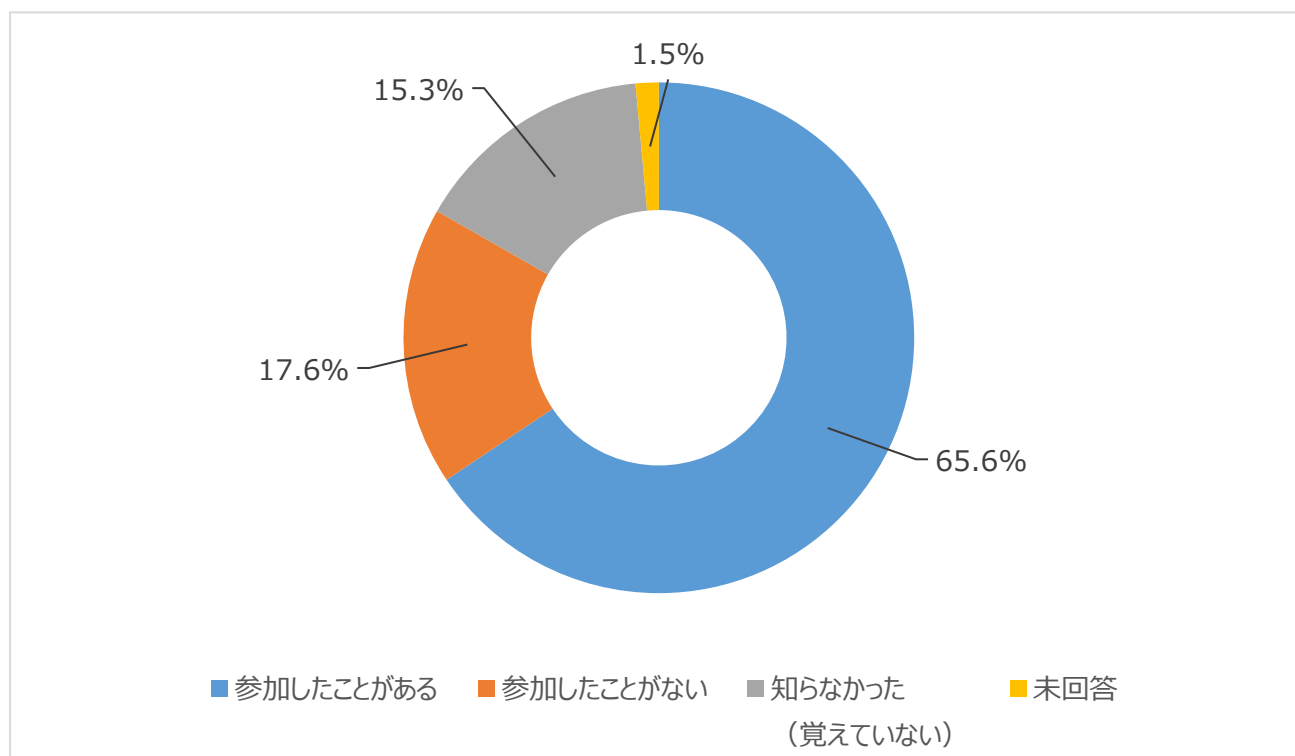
【問2】 お子さんは、おいくつですか？（複数回答可）

0～2歳	3～5歳	6歳	未回答	合計
492	490	53	0	1,035
47.5%	47.3%	5.1%	0.0%	100.0%



【問3 - (1)】 以前に「ブックスタート」に参加されたことがありますか？（転入されてきた方は、以前住んでいた自治体で）

参加したことがある	参加したことがない	知らなかった (覚えていない)	未回答	合計
584	157	136	13	890
65.6%	17.6%	15.3%	1.5%	100.0%



【問3 - (2)】 (1)の質問で、(ア)を選んだ方に伺います。ブックスタートについてのご意見・ご感想をお書きください。

意見	計
絵本選び・読み聞かせのきっかけや参考になった	146
絵本をもらえて嬉しかった	97
(既所持なので別の) 絵本を選べた	24
(既所持だが) 絵本を選べなかった	2
絵本の選択肢を増やしてほしい	29
子が興味を持った	81
子が興味を持たなかった(泣き出した)	12
図書館について教えてもらった	4
あまり覚えていない	7
時期が早いと思う	4
しばらくしてから子が読むようになった	11
健診のたびにやってほしい	9
親が知らない本に触れられる	13
継続してほしい	10
よい取り組みだと思う	46
その他(低評価)	5
その他	24
合計	524

【問3 - (2)】 (その他の主な意見)

(低評価)

- 戸田市からいただいた本は、いい本かもしれませんが、古くからあるためか、私の感覚では、かわいいとは思えず、子どもたちも好まなかった気がします。もう少し今風の絵本にしてもらいたいです。
- 「いないいないばあ」をもらいましたが、絵がとても怖いので、飛び出す絵本や、もっとかわいい絵本が良かったです。
- 4か月だと、あまり興味を示さなかったなので、ほかの年齢でもやってほしいです。
- 絵本をプレゼントされたことはとてもうれしかったけど、絵面が昭和過ぎてかわいくない…(上の子の時はおふろでちゃぷちゃぷ、下の子はいないないばあでした。)赤ちゃんなのでもっとカラフルな本や仕掛けがある本の方が食いついたと思います。

- 健診のうちの短時間だったので、あまり意義を感じられなかった
- 子どもに破られてしまったので、厚い紙の本の方がよい。（破れないような素材）
- まだ本人が幼すぎて、本をなめてしまうだけだった。健診のたびに月齢に合わせた本の紹介がほしい（本を並べておくなど）。スマホやタブレット育児になってしまうことがほとんどなので、スマホ以外の育児方法を親に伝える場所として健診（発育状況の確認のみならず）親の子育て状況の確認ケアもしてほしい。
- ブックスタートはとても関心を持ったが、本人はまだまだ赤ちゃんで本を破く、なめるなどで終わってしまい続かなかった。健診のたびに発育状況の確認だけでなく、育児の一つとして本の読み聞かせの意義、実演し、根付かせる活動が欲しい。センターの人がイスで読み聞かせを始めてみたりすることで、今まで関心のなかった親子にもいい影響になる。病院やバス、電車で子供を静かにさせようとするのではなく、堂々と読み聞かせする。ママはとっても大変、子育てする人は偉いんだよと親をほめてあげてほしい。
- 市として、一生懸命取り組んでいるのだろうと思った。ただ、説明が唐突で、なぜそのようなことをしているのか、その時は思った。もう少し、どういう思いで取り組んでいるのかなどを知らせていく方がいいと思う。
- 兄（10歳）のときはトートバックのプレゼントもあり、現在も図書館に行くときに本人が使っている。第二子のときはこれがなかったのが残念だ。
- 里帰り出産だったので、戸田市で参加できず、絵本ももらえませんでした。
- ㊦なのですが、施設から里子として家庭に来たため、どこからもブックスタートから漏れてしまったようです。こういう事情の子供たちも参加できるように将来的には取り計らっていただけたら嬉しいです。
- 正直、ブックスタートによって読書の習慣が付くとは思えず、定期検診の待ち時間などでも、絵本に触れる機会があってもいいのではないかと思う。読み聞かせの時間がとりにくい下の子の場合は、そのような合間の時間でもうれしいかもしれない。

（高評価）

- 任意参加ではなく、健診の項目として設けることでどのご家庭にも等しく絵本に触れられる機会があることがとても良いと思います。
- 初めての子育てで、子供に語り掛けるのが気恥ずかしくてできなかったが、ブックスタートから「本を通じて話せばできる」ということに気づかせてもらった。いただいた本は何十回も読んだ思い出の本です。
- すごくいいと思う。子供に合った本を1冊いただけのもありがたい。もっと定期的に（0歳児検診）本の紹介や選び方のアドバイスなどがもらえると嬉しい。（公共施設での読み聞かせなど、仕事をしていると平日は参加しにくいので）
- 1歳児健診などで本をもらったりして家で読んだりしたことはあった。
- 読み聞かせで使いました。

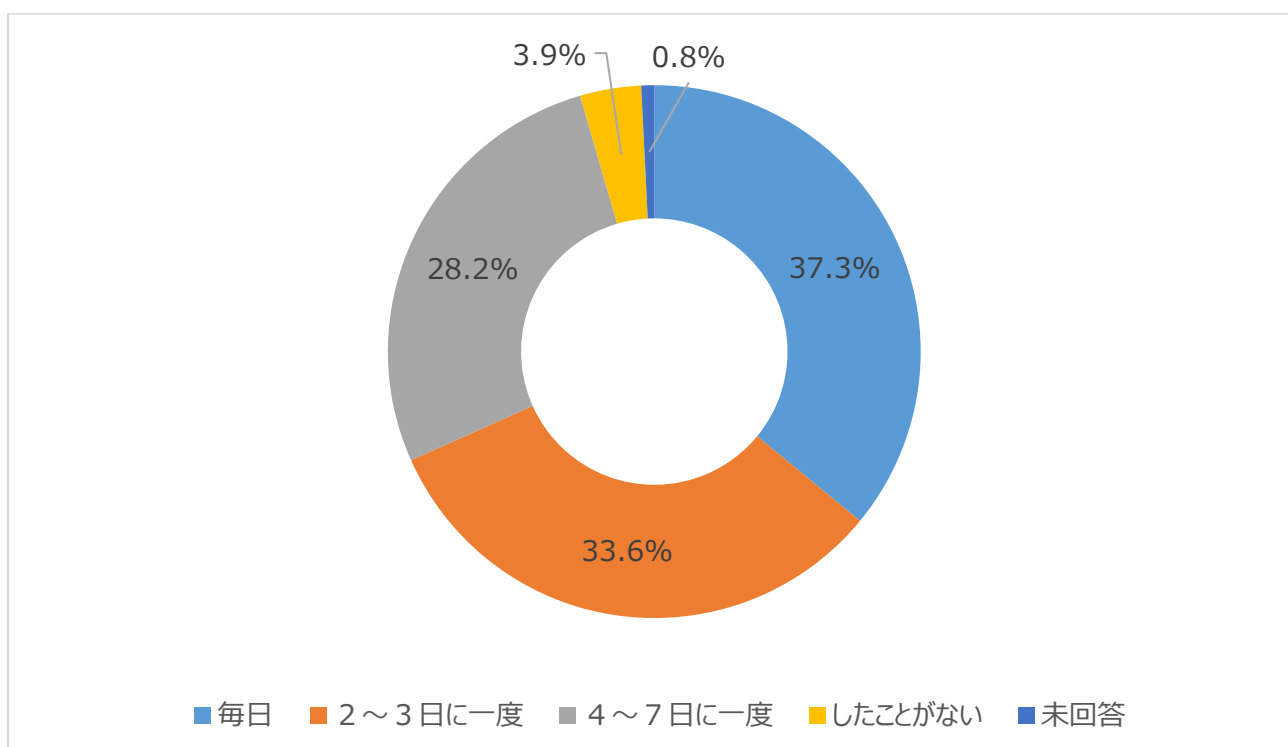
-
-
- 袋もあわせていただき、子供が持って図書館に行くきっかけになりました。
 - 以前住んでいた自治体でも戸田市でもこの取り組みがあり、最初はどんな絵本を用意していいかわからないときもあったので、良いと思います。絵本は安くないので…。

(その他)

- とくになし
- 特にないです。覚えていません
- おすすめの本を教えて。
- こんな時期から始めるものなのか！と。
- 自由に本を手にとって読んで健診の待ち時間を有効に利用してもらう工夫。
- 第一子で「おふろちゃぷちゃぷ」、第二子で「ごぶごぶごぼごぼ」第三子で「いないいないばあ」をいただきました。低年齢でも楽しめたのは「ごぶごぶごぼごぼ」でした。毎年何になるのかははじめに分かると重複して購入することもないかなと思います。
- 4 か月検診で参加
- うちは女の子だからだと思いますが、男性の方の読み聞かせのときは渋い顔をしてました。特にどうということはありませんが、参考までに
- 川口市で、絵本をもらうだけでしたが、ありました。

【問４－（１）】 絵本などの読み聞かせをしていますか？

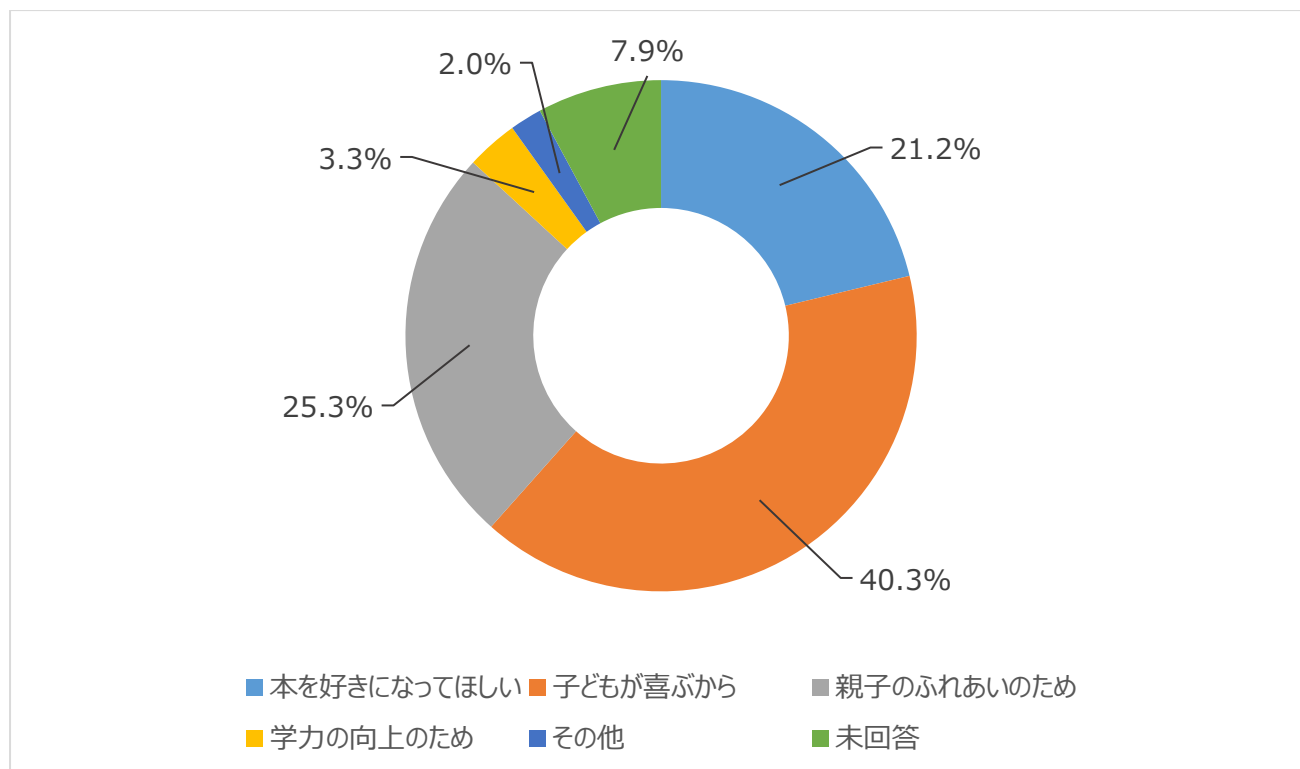
毎日	２～３日に一度	４～７日に一度	したことがない	未回答	合計
320	288	242	33	7	857
37.3%	33.6%	28.2%	3.9%	0.8%	100.0%



絵本などの読み聞かせをしている(「毎日」、「2～3日に一度」、「4～7日に一度」)人は、9割以上で、前回と比べ、「4～7日に一度」よりも「毎日」、「2～3日に一度」と回答した割合が増えており、日常での読み聞かせが浸透してきている。

【問4－(2)】(1)の質問で(ア)(イ)(ウ)を選んだ方に伺います。読み聞かせをする目的はなんですか？(1つだけ選んでください。)

本を好きになってほしい	子どもが喜ぶから	親子のふれあいのため	学力の向上のため	その他	未回答	合計
189	359	225	29	18	70	890
21.2%	40.3%	25.3%	3.3%	2.0%	7.9%	100.0%



読み聞かせをする目的は、「子どもが喜ぶから」「親子のふれあいのため」が、前回同様6割以上となった。

【問4 - (2)】 (その他の回答)

意見	計
語彙力、理解力、読解力などの向上	33
寝かしつけ	5
子にせがまれて	10
知識、興味を増やしてほしい	9
静かに話を聞く練習	1
親子のコミュニケーション	2
毎日の日課	1
その他	2
合計	63

(その他の主な意見)

- ブックオフなど古本屋で
- 全てにおいていいと思う

【問４－（３）】問４－（１）の質問で（工）を選んだ方に伺います。理由はなんですか？

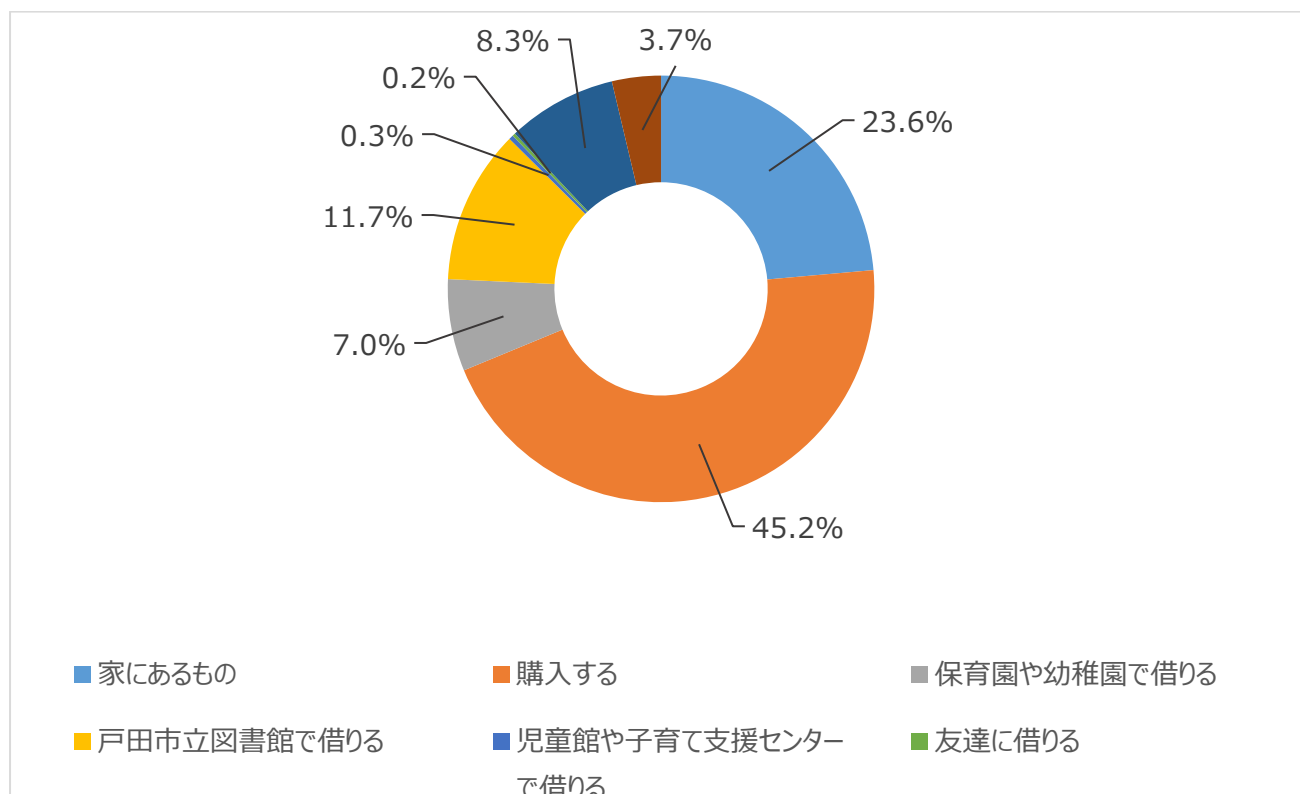
意見	計
本が嫌い	2
子が自分で読みたがる	3
子は運動をする方が好き	3
子はページをめくる作業が好き	1
時間を作れない	4
興味を持たない・集中しない	6
読み聞かせが苦手	1
兄弟姉妹が読み聞かせしてくれる	1
その他	1
合計	22

（その他の主な意見）

- 色々な言葉や言い回しに触れることで、言葉のボキャブラリーが増える。
- スマホや youtube からは得られない学びが本にはある。
- 想像力を働かせることが脳の発達を促すと思う。
- 国語力アップにつながると思う。
- 特別な教育（お金をかけて習い事をせずとも）コスパよく子どもの学力を上げるツールとして本、図書館の利用促すきっかけ。

【問5】 絵本はどのようにして手にいれますか？（1つだけ選んでください。）

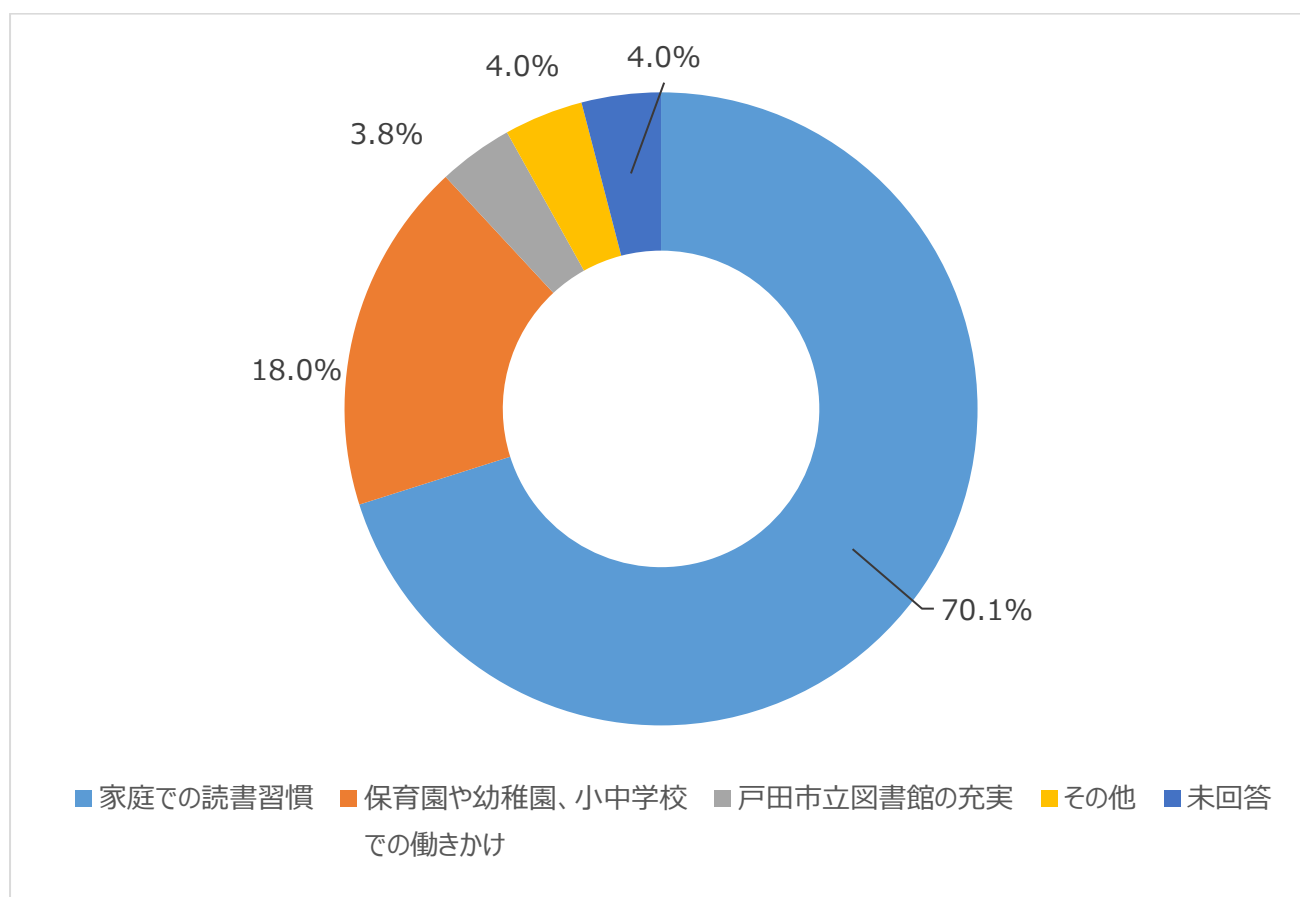
家にあるもの	購入する	保育園や幼稚園で借りる	戸田市立図書館で借りる	児童館や子育て支援センターで借りる	友達に借りる	その他（プレゼントなど）	未回答	合計
210	402	62	104	3	2	74	33	890
23.6%	45.2%	7.0%	11.7%	0.3%	0.2%	8.3%	3.7%	100.0%



「購入」が45.2%と半数近くとなった。前回と比べ、「保育園や幼稚園で借りる」、「戸田市立図書館で借りる」、「児童館や子育て支援センターで借りる」の割合が減り、「家にあるもの」、「購入する」の割合が増えた。

【問6】 子どもたちが本を読むようになるには、何が重要だと思いますか？

家庭での読書習慣	保育園や幼稚園、小 中学校での働きかけ	戸田市立図書館の 充実	その他	未回答	合計
624	160	34	36	36	890
70.1%	18.0%	3.8%	4.0%	4.0%	100.0%



「家庭での読書習慣」の割合が7割を占めた。前回と比べ、「家庭での読書習慣」の割合が増え、「戸田市立図書館の充実」、「保育園や幼稚園、小中学校での働きかけ」の割合が減った。

【問6】（その他の意見）

意見	計
図書館工事・休館について	3
良い絵本に出会えるか	3
自治体主導の指導	4
読書の楽しさを体験させる	5
家庭での環境づくり	19
保育園などでの環境づくり	12
図書館の充実・キッズスペースの設置	17
本人の興味次第・無理強いはしない	5
その他	4
合計	72

（その他の主な意見）

- ママ友からも、あいぱるで少し子供が走っていただけなのに怒られたから、それから言っていないという話も聞いた。私もあいぱるは、静かな雰囲気なので、行っていません。他の利用者に、うるさくて怒られるかもしれないが、職員には、子供の特徴を理解して接してもらいたい。子育てしづらいと感じる。
- 毎日本を聞きながら子供に頭がよくなります
- 問5の㊦と㊧の違いが分かりません
- 沢山興味を持って関心が高まることは良いことだと思います。

【アンケート調査結果（施設・統計）】

○学校図書館蔵書数

	平成18年度末現在	平成24年度末現在	平成30年度末現在
小学校 12校	100,425冊	126,155冊	141,351冊
中学校 6校	50,660冊	66,710冊	74,159冊
高校 2校			95,443冊

【アンケート調査結果（施設・意見）】

（小学校）

○読書関係の取組みを実施していますか。

- ・読書マラソン：読書記録台紙を作成、目標ページや目標冊数達成で賞状
- ・図書委員会による本の紹介、発表
- ・子ども達の昇降口に長机を設置し、低学年、中学年、高学年向けの絵本をそれぞれ6冊ずつ（全体で18冊）を誰でも読めるよう、コーナーを設けた。
- ・学年ごとに目標冊数やページ数を設け、達成した児童に賞状を作り、表彰する。

○戸田市立図書館と学校の連携について

- ・団体貸出を利用して、学校図書館の蔵書には限りがあるため、調べ学習の際は豊富に資料を活用でき、大変助かっている。しかし、市立図書館は離れているため、団体貸出の巡回車のスケジュールと学習スケジュールが合わないときの利用しづらさも感じている。
- ・学校で図書館（室）の利用教育を行っているが、絵本の並びは小学校では著者名順、題名順等、児童が探しやすいよう各校工夫して配架しているため、市立図書館の出版社順に並べられた棚で本を探す際に利用教育で学んだことが活かせず、目的の本にたどりつきづらいようである。出版社は、小さな子には分かりづらいため、市立図書館でも著者名順や題名順等、学校と統一した配架を検討いただければと感じている。

（中学校）

○戸田市立図書館と学校の連携について

- ・郊外学習等の調べ物で活用したいとき、（5、6月実施の）丁度いい日程に当たらないことが多くなかなか利用できていなかった。団体貸出などの日程がもう少し自由度があると使いやすいと思います。

(市立保育園)

○独自に行っている読書活動の推進に関わる取り組みについて

- ・家庭でも親子で絵本が楽しめるように貸出絵本を実施している。また、読んだ感想等を保護者に書いてもらい、掲示などしている。
- ・親子図書ルームを開催している。1か月に2日間夕方の時間に1クラスを使用して絵本の紹介や親子で絵本を見る時間を設けている。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・TV、DVD、スマホ、iPadなど、様々な情報ツールが生活の中に当たり前存在し、絵本もiPadで見られる中で、保育士としては、絵本を見る楽しさを伝えていきたいと思いません。紙のページをめくるワクワク感、触り心地、めくる音、紙のにおいなど。絵本ならではの楽しさ、味わう深さを伝えていけるよう、保育園での読み聞かせの風景を写真にとって保護者にお見せしたり、おすすめ絵本、本日読んだ本等伝えることで身近に楽しめるものとして感じていただけるようにと思っています。

(私立保育園)

○独自に行っている読書活動の推進に関わる取り組みについて

- ・本棚を事務所前に置き、いつでも絵本が見られるようにしている。お迎え時に親子で読んでいる姿が毎日のようにあります。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・地域子育て支援センターにおいて、12年間絵本の読みきかせ講座を行っている。読み聞かせが親子のコミュニケーションにとってとても大きな役割を果たすこと、読みきかせを続けていくことにより、子どもの発達や成長がよく見えることを具体的に話し、共有していく中で、保護者が読み聞かせ（読書）の力を実感していると感じる。
- ・講座で良書のリストを配布しているが、古いものだと書庫に入っていることも多く、また人気のある本などは予約がなかなか回ってこないなどの報告を聞くこともある。今後も新しい本がどんどん出版されると思うが、良書を手に取りやすい環境が身近にあるとよいと思う。

(家庭保育室・小規模保育事業所・事業所内保育事業所・認可外保育施設)

○独自に行っている読書活動の推進に関わる取り組みについて

- ・購入には限りがあり、図書館の本を活用している。特に紙芝居や大型絵本は役立ってい

る。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・おはなし会として各園に読み聞かせをしてくれる団体が回ってきてくれるような活動があれば嬉しいです。秋の芸術、文化活動などと結び付けて行事のひとつに入れるのもいいと思います。保育士が読み聞かせるのとはまた雰囲気が変わり、子ども達も楽しめるのではないのでしょうか。
- ・保育園からの貸出絵本を検討中です。

(幼稚園)

○独自に行っている読書活動の推進に関わる取り組みについて

- ・日常的に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っています。
- ・「絵本を読もう 100 冊」という冊子を配布し、保護者の方にも読んでいただきたい、子どもとかかわってほしい、子供たちの想像力を引き出していきたい。という思いから取り組んでいます。100 冊読むと表彰を行い、自信へとつなげています。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・子どもによっては、「今日幼稚園で読んだ本が面白かった」と言ったので、どんな本ですか？などの質問を（保護者から）受けます。家でもよく本を読んでいるようです。こちらからも、こんな本を読んでいます。と言うときもあります。

(ふれあい広場・子育て広場・障害者福祉施設・児童施設)

○読書関係の取組みを実施していますか。

- ・家庭での親子の向き合い時間の中に、絵本の読み聞かせを設けるように呼びかけ。絵本の紹介を、便りなどを用いて行っている。
- ・年に数回、単発のイベントとして、全年令児に向けた素話や紙芝居を実施。
- ・週 3 回開催している子育て広場（0～2 歳児親子対象）において、ほぼ毎回、絵本や紙芝居の読み聞かせを一斉プログラムとして実施。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・9 月ごろから入園される児童がいるため、毎日読書の時間を行いたいと思っています。年間 150 冊以上の計画も立てており、絵やイメージ、言葉を子ども達に伝えていきたいと思っています。

(学童保育室)

○読書関係の取組みを実施していますか。

・一日保育の時に、学習時間の後 15 分間読書の時間を設けたり、遊びに飽きたときなど読書の時間を設けている。また、昼食後、おやつ後も読書の時間とし、気持ちを落ち着かせなければいけないときも読書の時間を設けている。

○家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見について

- ・紙芝居などを読んでくれる方に来ていただきたいです。
- ・読み聞かせボランティアの方に来ていただきたい。お願いの仕方がわからない。
- ・団体利用で図書館から定期的に本をお借りしています。

- ・図書館が近くにないので、移動図書館などたくさんの本に触れられる機会があったらいいなと思います。
- ・夏休みは 40 日近く 1 日保育が続くので、ぜひ読み聞かせのボランティアの人に来ていただいて本の楽しさを子どもたちに知ってもらいたい。たくさんの本に触れてほしいと思いますが、どこにお願いすればいいでしょうか。
- ・子供によって、本が大好きな子とそうでない子がいます。読書に興味がない子でも、家庭で少し本に親しくさせた方がいいと思います。

【アンケート質問用紙】

読書についてのアンケート【小学2年生～3年生】

○このアンケートで、

「本」に含めないもの

「教科書」・「雑誌」・「偉人や歴史以外の漫画」

- 問1 あなたは本を読むことが好きですか。
- ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い
- 問2 あなたが小学校へあがる前、家族や保育園、幼稚園の先生に本を読んでもらったことがありますか。
- ア よくあった イ たまにあった ウ なかった エ おぼえていない
- 問3 あなたは読んだ本の内容について、家族や友達と話をしたことがありますか。
- ア よくある イ たまにある ウ ない
- 問4 あなたはどこで本を読むことが多いですか。2つまで選んでください。
- ア 学校の読書の時間 イ 学校の図書室 ウ 戸田市立図書館（※）
 エ 自分の家 オ 学童保育室
 カ 児童館（プリムローズ・こどもの国） キ その他
- 問5 この1カ月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。
- ア 0冊 イ 1～3冊 ウ 4～6冊 エ 7～9冊
 オ 10冊以上
- 問6 あなたは学校の図書室へ行きますか。
- ア よく行く イ たまに行く ウ 行かない

問7 あなたは戸田市立図書館（※）を利用したことがありますか。

ア よく利用する イ ときどき利用する ウ 利用したことがない

問8 「戸田市子供読書手帳」を使っていますか。

ア 使っている イ 使っていない ウ 「戸田市子供読書手帳」を知らない

※「戸田市立図書館」は、「本館」「上戸田分館」「下戸田分室」「下戸田南分室」「美笹分室」
「戸田公園駅前配本所」「新曽配本所」のすべてを含みます。

ご協力ありがとうございました。

アンケートの回答は「子どもの読書活動推進計画」策定の目的以外には使用しません。

戸田市立図書館

読書についてのアンケート【小学4年生～6年生】

○このアンケートで、

「本」に含めないもの

「教科書」・「雑誌」・「偉人や歴史以外の漫画」

問1 あなたは本を読むことが好きですか。

ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い

問1-① 問1の質問で、(ア) (イ)を選んだ人だけ教えてください。

どんな理由からですか。

ア 楽しいから イ 知らないことがわかるから

ウ 考える力がつくから エ 宿題にでたから

オ 好きな作家やシリーズがあるから カ その他

問1-② 問1の質問で、(ア) (イ)を選んだ人だけ教えてください。

どんな本を読んでいますか。一番よく読む本を1つ選んでください。

ア 小説や物語 イ 伝記(社会の役に立った人のお話)

ウ 科学についての本 エ 歴史についての本 オ 図鑑

カ 趣味・スポーツについての本 キ 絵本 ク その他

問1-③ 問1の質問で、(ウ) (エ)を選んだ人だけ教えてください。

本を読まない理由はなんですか。

ア 読みたい本がないから イ 本を読むのが苦手だから

ウ パソコンやスマホを使ったり、ゲームをしたり、テレビを見ることが好きだから

エ 塾や習いごとでいそがしいから オ その他

問2 あなたが小学校へあがる前、家族や保育園、幼稚園の先生に本を読んでもらったことがありますか。

ア よくあった イ たまにあった ウ なかった エ おぼえていない

問3 あなたは読んだ本の内容について、家族や友達と話をしたことがありますか。

ア よくある イ たまにある ウ ない

問4 あなたはどこで本を読むことが多いですか。3つまで選んでください。

ア 学校の読書の時間 イ 学校の図書室 ウ 戸田市立図書館 (※)

エ 自分の家 オ 学童保育室

カ 児童館(プリムローズ・こどもの国) キ その他

問5 あなたは本を読むとき、どのようにして手にいれることが多いですか。

ア 家にあるもの イ 購入する ウ 学校の図書室で借りる

エ 戸田市立図書館 (※) で借りる オ 友達に借りる

カ その他(プレゼントなど)

問6 この1カ月の間に、本を何冊ぐらいよみましたか。

ア 0冊 イ 1～3冊 ウ 4～6冊 エ 7～9冊

オ 10冊以上

問7 あなたは学校の図書室へ行きますか。

ア よく行く イ たまに行く ウ 行かない

問8 あなたは戸田市立図書館（※）を利用したことがありますか。

ア よく利用する イ ときどき利用する ウ 利用したことがない

問8-① 問8の質問で、(ア) (イ)を選んだ人だけ教えてください。

どんな時に利用しますか？（2つまで選んでください。）

ア 宿題などの調べ物をするため イ 読みたい本を借りるため

ウ 図書館の行事に参加するため エ 落ち着いて本を読みたいとき

オ CDやDVDを借りるため

カ その他 []

問8-② 問8の質問で(ウ)を選んだ人だけ教えてください。

利用しない理由はなんですか。1つ選んでください。

ア 遠くていけない イ 場所がわからない ウ いく時間がない

エ 図書館の利用の仕方がわからない オ 読みたい本がない カ 本に興味がない

キ その他 []

問9 「とだしこどもどくしよてちよう つか「戸田市子供読書手帳」を使っていますか。

ア つか使っている イ つか使っていない ウ とだしこどもどくしよてちよう し「戸田市子供読書手帳」を知らない

問10 あなたがとだしりつとしよかん (※) について「ここが足りない!」「こうしたらもっと良くなる!」

おもと思うところがあったらじゆう か自由に書いてください。

[]

※ とだしりつとしよかん「とだしりつとしよかん」は、「ほんかん」本館、「かみとだぶんかん」上戸田分館、「しもとだぶんしつ」下戸田分室、「しもとだみなみぶんしつ」下戸田南分室、「みさきぶんしつ」美笹分室
とだこうえんえきまえはいほんじよ「戸田公園駅前配本所」にいぞはいほんじよ「新曽配本所」のすべてをふく含みます。

きょうりよくご協力ありがとうございました。

アンケートの回答は「かいとう こ どくしよかつどうすいしんけいかく さくてい もくてきがい しよ子どもの読書活動推進計画」策定の目的以外には使用しません。

とだしりつとしよかん
戸田市立図書館

読書についてのアンケート【中学生】

○このアンケートで、

「本」に含めないもの

「教科書」・「雑誌」・「偉人や歴史以外の漫画」

問1 あなたは本を読むことが好きですか。

ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い

問1-① 問1の質問で、(ア) (イ)を選んだ人だけ教えてください。
どんな理由からですか。ア 楽しいから イ 知らないことがわかるから
ウ 考える力がつくから エ 宿題にでたから
オ 好きな作家やシリーズがあるから カ その他問1-② 問1の質問で、(ア) (イ)を選んだ人だけ教えてください。
どんな本を読んでいますか。一番よく読む本を1つ選んでください。ア 小説や物語 イ 伝記(社会の役に立った人のお話)
ウ 科学についての本 エ 歴史についての本 オ 図鑑
カ 趣味・スポーツについての本 キ 絵本 ク その他問1-③ 問1の質問で、(ウ) (エ)を選んだ人だけ教えてください。
本を読まない理由はなんですか。ア 読みたい本がないから イ 本を読むのが苦手だから
ウ パソコンやスマホを使ったり、ゲームをしたり、テレビを見るのが好きだから
エ 部活や塾・習いごとでいそがしいから オ その他

問2 あなたが小学校へ入学するまでに、家族や保育園、幼稚園の先生に本を読んでもらったことがありますか。

ア よくあった イ たまにあった ウ なかった エ おぼえていない

問3 あなたは読んだ本の内容について、家族や友達と話をしたことがありますか。

ア よくある イ たまにある ウ ない

問4 あなたはどこで本を読むことが多いですか。3つまで選んでください。

ア 学校の読書の時間 イ 学校の図書室 ウ 戸田市立図書館（※）
エ 自分の家 オ 児童館（プリムローズ・こどもの国） カ その他

問5 あなたは本を読むとき、どのようにして手にいれることが多いですか。

ア 家にあるもの イ 購入する ウ 学校の図書室で借りる
エ 戸田市立図書館（※）で借りる オ 友達に借りる
カ その他（プレゼントなど）

問6 この1カ月の間に、本を何冊ぐらいよみましたか。

ア 0冊 イ 1～3冊 ウ 4～6冊 エ 7～9冊 オ 10冊以上

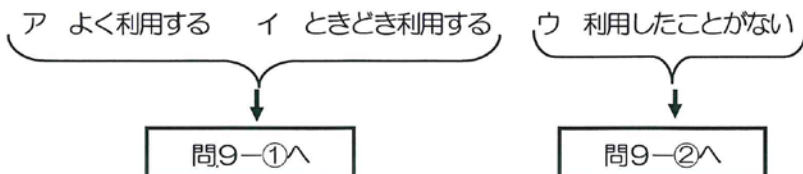
問7 パソコン、スマホ、タブレット、ブックリーダーなどを利用して、本を読んだことはありますか。

ア よく読む イ たまに読む ウ 読まない

問8 あなたは学校の図書室へ行きますか。

ア よく行く イ たまに行く ウ 行かない

問9 あなたは戸田市立図書館（※）を利用したことがありますか。



問9-① 問9の質問で、(ア) (イ) を選んだ人だけ教えてください。
 どんな時に利用しますか？(2つまで選んでください。)

- ア 宿題などの調べ物をするため イ 読みたい本を借りるため
 ウ 図書館の行事に参加するため エ 落ち着いて本を読みたいとき
 オ CDやDVDを借りるため
 カ その他 []

問9-② 問9の質問で(ウ)を選んだ人だけ教えてください。
 利用しない理由はなんですか。1つ選んでください。

- ア 遠くていけない イ 場所がわからない ウ いく時間がない
 エ 図書館の利用の仕方がわからない オ 読みたい本がない カ 本に興味がない
 キ その他 []

問10 「戸田市子供読書手帳」を使っていますか。

- ア 使っている イ 使っていない ウ 「戸田市子供読書手帳」を知らない

問11 あなたが戸田市立図書館(※)について「ここが足りない!」「こうしたらもっと良くなる!」と思うところがあったら自由に書いてください。

[]

※「戸田市立図書館」は、「本館」「上戸田分館」「下戸田分室」「下戸田南分室」「美笹分室」「戸田公園駅前配本所」「新曽配本所」のすべてを含みます。

ご協力ありがとうございました。

アンケートの回答は「子どもの読書活動推進計画」策定の目的以外には使用しません。

戸田市立図書館

乳幼児期の読書に関するアンケートのお願い

戸田市では、0歳から6歳までのお子さんのいるご家庭を対象に、読書環境等の現状の把握のためにアンケートを実施いたします。この結果をもとに、図書館での児童サービスや市内の公共施設で読書活動の推進に関する取組の参考にさせていただきたいと考えております。

お手数ですが、マークシート用紙にご記入の上、令和元年7月17日(水)までに「プリムローズ」または「こどもの国」へご持参いただきますよう、お願いします。

※マークシート用紙は折り曲げないでください。

問1 回答者（記入される方）の年代をお教えてください。

ア 10歳代～20歳代 イ 30歳代 ウ 40歳代 エ その他

問2 お子さんは、おいくつですか？（複数回答可）

ア 0～2歳 イ 3～5歳 ウ 6歳

問3 戸田市では、4カ月健診の際に、絵本の読み聞かせの意義の説明や実演をし、絵本をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています。

(1) 以前に「ブックスタート」に参加されたことがありますか？（転入されてきた方は、以前住んでいた自治体で）

ア 参加したことがある イ 参加したことがない ウ 知らなかった
(覚えていない)

(2) (1)の質問で、(ア)を選んだ方に伺います。

ブックスタートについてのご意見・ご感想をお書きください。

[

問4 読み聞かせについて伺います。

(1) 絵本などの読み聞かせをしていますか？

ア 毎日 イ 2～3日に一度 ウ 4～7日に一度 エ したことがない

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（小学校用）

1. 学校名 _____ 小学校

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由) _____)

- ① 回数 (年・月・週 _____ 回)
- ② 時間帯 (時 分 ~ 時 分)
- ③ 対象 (年生 ~ 年生)
- ④ 内容 (_____)
- ⑤ 成果 (_____)

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由) _____)

- ① 回数 (年・月・週 _____ 回)
- ② 実施者 保護者のボランティア・本好きサポーター
(戸田市学校図書館図書整理員)
- 地域のボランティア(団体名: _____)
- 教師・その他(_____)
- ③ 対象 (年生 ~ 年生)
- ④ 内容 (_____)
- ⑤ 成果 (_____)

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

(4) 図書館からの団体貸出の本以外に学級に本がありますか。

ある(種類: _____)・ない

3. 学校図書室の活用等について（該当するものに○を1つ付けてください。）

(1) 学校図書室をいつ利用していますか。 ※複数回答可

- ① 教科の時間(国語・理科等)
 ② 総合的な学習の時間
 ③ その他()

(2) 学校図書の選書は誰がしていますか。 ※複数回答可

- ① 教師
 ② 本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)
 ③ その他()

4. 図書室の蔵書(平成30年度)について伺います

学年別児童の月別年間平均貸出冊数(生徒1人あたりの月の貸出数)

	30年度
小学1年	冊
小学2年	冊
小学3年	冊
小学4年	冊
小学5年	冊
小学6年	冊

5. その他、戸田市立図書館と学校との連携などご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

6. その他、読書活動推進について御意見等ありましたらご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（中学校用）

1. 学校名 _____ 中学校

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由 _____)

- | | |
|---------------------|--|
| ┌
├───┐
└───┘ | ① 回数 (年・月・週 _____ 回) |
| | ② 時間帯 (_____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分) |
| | ③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生) |
| | ④ 内容 (_____) |
| | ⑤ 成果 (_____) |

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由 _____)

- | | |
|---------------------|--|
| ┌
├───┐
└───┘ | ① 回数 (年・月・週 _____ 回) |
| | ② 実施者 _____ 保護者のボランティア・本好きサポーター
(戸田市学校図書館図書整理員) |
| | _____ 地域のボランティア(団体名: _____) |
| | _____ 教師・その他(_____) |
| | ③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生) |
| ④ 内容 (_____) | |
| ⑤ 成果 (_____) | |

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

(4) 図書館からの団体貸出の本以外に学級に本がありますか。

ある(種類: _____)・ない

3. 学校図書室の活用等について（該当するものに○を1つ付けてください。）

(1) 学校図書室をいつ利用していますか。 ※複数回答可

- ① 教科の時間(国語・理科等)
 ② 総合的な学習の時間
 ③ その他()

(2) 学校図書の選書は誰がしていますか。 ※複数回答可

- ① 教師
 ② 本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)
 ③ その他()

4. 図書室の蔵書(平成30年度)について伺います

学年別生徒の月別年間平均貸出冊数(生徒1人あたりの月の貸出数)

	30年度
中学1年	冊
中学2年	冊
中学3年	冊

5. その他、戸田市立図書館と学校との連携などご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

6. その他、読書活動推進について御意見等ありましたらご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（高校用）

1 学校名 _____ 高校

2 読書活動についてお答えください。（該当するものを1つ選んでください。）

◎読書活動の実践を行っていますか。

① はい ② いいえ

◎読書週間の設定をしていますか。

① はい ② いいえ

◎図書室だよりや本のリスト等の作成していますか。

① はい ② いいえ

◎学校図書室に専任の司書はいますか。

① はい ② いいえ

3 学校図書室についてお答えください。

◎生徒が図書室の利用ができる時間帯はいつですか 該当する全てに○をしてください

(1) 曜日 月 火 水 木 金 土 日

(2) 時間 休み時間 昼休み 放課後 授業時間

◎学校図書室に司書がいる時間帯はいつですか。

(1) 曜日 月 火 水 木 金 土 日

(2) 時間 時 分 ~ 時 分まで

◎図書室の蔵書数について伺います。

・平成31年4月1日現在の蔵書数でお答えください。

冊

◎年間の図書の購入数と予算額についてお答えください。

	28年度	29年度	30年度
年間購入冊数	冊	冊	冊
年間購入額	円	円	円

◎学年別生徒の月別年間平均貸出冊数（生徒1人あたりの月の貸出数）

	28年度	29年度	30年度
高校1年	冊	冊	冊
高校2年	冊	冊	冊
高校3年	冊	冊	冊

4 学校が独自に行っている読書活動があればお書きください。

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（市立保育園用）

1. 保育園名 _____ 保育園

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

年間購入冊数	年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数		冊	冊	冊
購入金額		円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（私立保育園用）

1. 保育園名 _____ 保育園

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回
 ◎一回当たりの時間 _____ 分
 ◎対象年齢 _____ 歳
 ◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回
 ◎一回当たりの時間 _____ 分
 ◎対象年齢 _____ 歳
 ◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（小規模保育事業所用）

1. 事業所名 _____

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（家庭保育室用）

1. 事業所名 _____

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回
 ◎一回当たりの時間 _____ 分
 ◎対象年齢 _____ 歳
 ◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回
 ◎一回当たりの時間 _____ 分
 ◎対象年齢 _____ 歳
 ◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（事業所内保育事業所用）

1. 事業所名 _____

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（保育施設用）

1. 事業所名 _____

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次 戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（幼稚園用）

1. 幼稚園名 _____ 幼稚園

2. 「読み聞かせ」、「おはなし会」等の開催状況についてお答え下さい。

(1) 「読み聞かせ」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(2) 「おはなし会」

◎一週間に _____ 回

◎一回当たりの時間 _____ 分

◎対象年齢 _____ 歳

◎成果 _____

(3) その他独自に行っている読書活動の推進に関わる取組がありましたら記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 児童書の所有数等についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（親子ふれあい広場・子育て広場用）

1. 広場名称 _____

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 時間帯 (時 分 ~ _____ 時 分)

③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 実施者 [保護者のボランティア
地域のボランティア(団体名: _____)
教師・その他(_____)]

③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

3. 児童書の所有数についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（障害者福祉施設用）

1. 施設名称 _____

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 時間帯 (時 分 ~ 時 分)

③ 対象 (年生 ~ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 実施者 [保護者のボランティア
地域のボランティア(団体名: _____)
教師・その他(_____)]

③ 対象 (年生 ~ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

--	--

3. 児童書の所有数についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（プリムローズ・こどもの国用）

1. 施設名称 _____

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 時間帯 (時 分 ~ _____ 時 分)

③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由) _____)

① 回数 (年・月・週 _____ 回)

② 実施者 [保護者のボランティア
地域のボランティア(団体名: _____)
教師・その他(_____)]

③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)

④ 内容 (_____)

⑤ 成果 (_____)

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

3. 児童書の所有数についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	冊	冊	冊
購入金額	円	円	円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定のためのアンケート（学童保育室用）

1. 施設名称 _____

2. 読書活動について

(1) 「読書の時間」(朝読書など)を設けていますか。

設けている・設けていない(理由 _____)

- ① 回数 (年・月・週 _____ 回)
 ② 時間帯 (時 分 ~ 時 分)
 ③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)
 ④ 内容 (_____)
 ⑤ 成果 (_____)

(2) 「読み聞かせ」を実施していますか。

実施している・実施していない(理由 _____)

- ① 回数 (年・月・週 _____ 回)
 ② 実施者 [保護者のボランティア
 地域のボランティア(団体名: _____)
 教師・その他(_____)]
 ③ 対象 (_____ 年生 ~ _____ 年生)
 ④ 内容 (_____)
 ⑤ 成果 (_____)

(3) 読書関係の取組みを実施していますか。(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

--	--

3. 児童書の所有数についてお答え下さい。

◎所有数 _____ 冊

◎年間購入冊数

年度	28年度	29年度	30年度
購入冊数	_____ 冊	_____ 冊	_____ 冊
購入金額	_____ 円	_____ 円	_____ 円

4. その他ご意見について

◎家庭や地域における子どもの読書活動をすすめるためのご意見があれば記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※アンケートの回答は子どもの読書活動推進計画策定の目的以外使用しません

【計画策定経過】

年	月日	内容
令和元年	5月17日	第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会要綱施行
	5月30日	第1回戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会
	6月～7月	第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定に係るアンケート調査実施
	7月19日	第1回戸田市立図書館・郷土博物館協議会
	10月31日	第2回戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会
	12月25日	第3回戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会
令和2年	1月14日	第2回戸田市立図書館・郷土博物館協議会
	1月16日	教育委員会
	2月1日～3月1日	パブリック・コメント実施
	3月17日	教育委員会

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会要綱

(設置)

第1条 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画を策定するため、第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の策定に関すること。
- (2) その他第3次戸田市子どもの読書活動推進計画に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、別表の委員をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は教育部長をもって充て、副委員長は教育委員会事務局次長（生涯学習課担当）をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在のときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課図書館担当において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年5月17日から施行する。

- 2 この要綱は、第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の策定が終了した日限り、その効力を失う。

別表（第3条関係）

所属	職名	備考
教育委員会事務局	教育部長 次長（生涯学習課担当） 教育政策室担当課長（指導担当） 生涯学習課長	委員長 副委員長
学校図書館教育部会	部長 副部長	
福祉部	障害福祉課長	
こども青少年部	こども家庭課長 保育幼稚園室担当課長（管理・指導担当） 児童青少年課長	
事務局	生涯学習課図書館担当	

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員名簿

	所属等	職名	氏名
1	教育委員会事務局	部長	山上 睦只
2	教育委員会事務局	参事	星野 正義
3	教育委員会事務局 教育政策室	課長	川和田 亨
4	教育委員会事務局 生涯学習課	課長	福田 忠史
5	学校図書館教育部会	部長	鈴木 薫
6	学校図書館教育部会	副部長	加藤 貴嗣
7	福祉部 障害福祉課	課長	鎌田 陽子
8	こども青少年部 こども家庭課	課長	石橋 晴美
9	こども青少年部 保育幼稚園室	課長	太田 美津子
10	こども青少年部 児童青少年課	課長	岩崎 一昭



第3次戸田市子どもの読書活動推進計画
令和2年3月発行

編集 戸田市立図書館（生涯学習課図書館担当）
〒335-0021
埼玉県戸田市大字新曽1707番地